

第8回「教勢調査」 山陽四国教区報告学習会

真宗大谷派（東本願寺）企画調整局 出 仕
真宗教化センター寺院活性化支援室 統括主任 松田 亜世

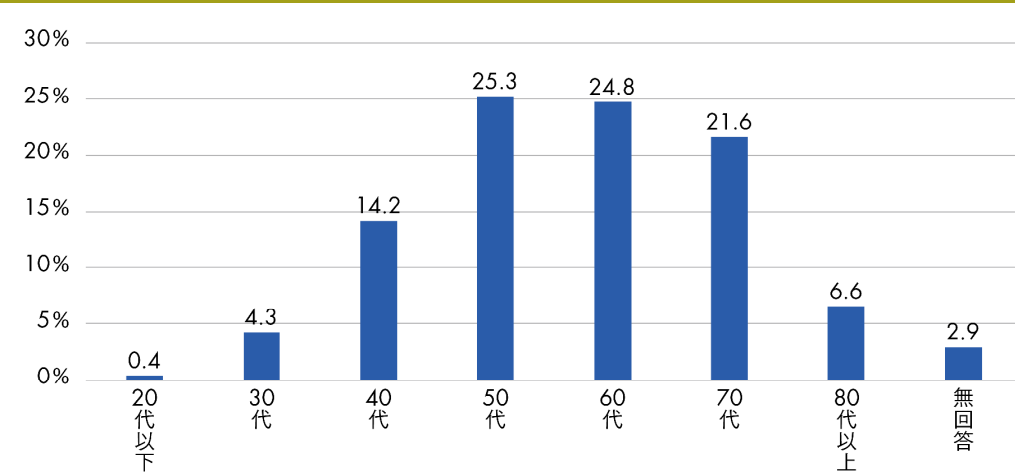
「報告書」の修正内容について ①

ページ	箇所	誤	正
18	「2023年度」8月の欄	リサーチクエスチョンや仮 設	リサーチクエスチョンや仮 説
102	《図3-②》の縦軸	<p>%</p> <p>■実施していない ■実施している</p> <p>《図3-②》教化活動ごとの報恩講の参詣人数の平均値 (n=5,294)</p>	<p>人</p> <p>■実施していない ■実施している</p> <p>《図3-②》教化活動ごとの報恩講の参詣人数の平均値 (n=5,294)</p>
145	4行目	年忌法要の年間執行回数」	「年忌法要の年間執行回数」

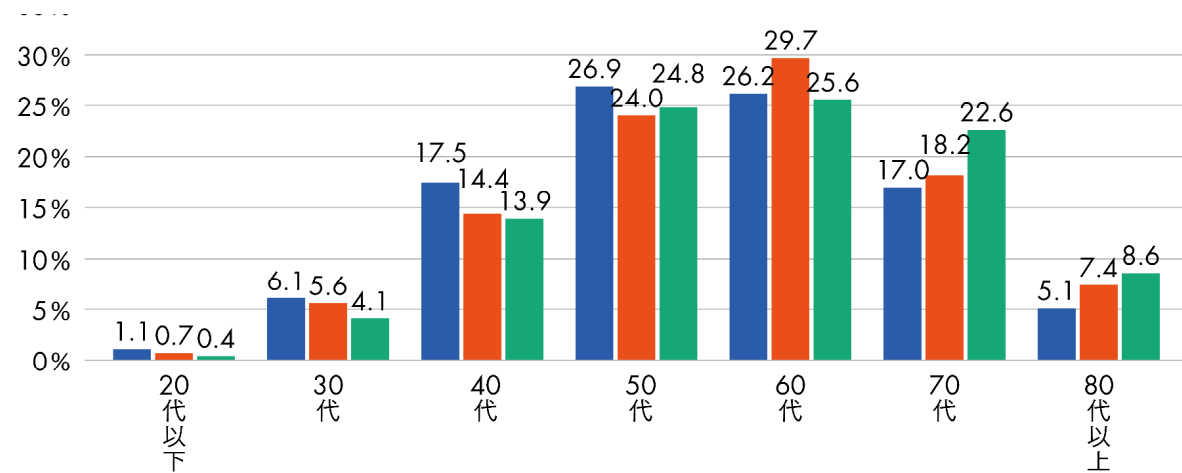
「報告書」の修正内容について ②

ページ	箇所	誤	正
21	《図基-3》の地図	奄美諸島が沖縄県の色になっている	奄美諸島は鹿児島県の色
22	《図基-5》の地図		
23	《図基-6》の地図		
51	《図1-36》の地図		
60	《図1-49》の地図		
82	《図1-82》の地図		

(P24～26) はじめに 《回答者世代》



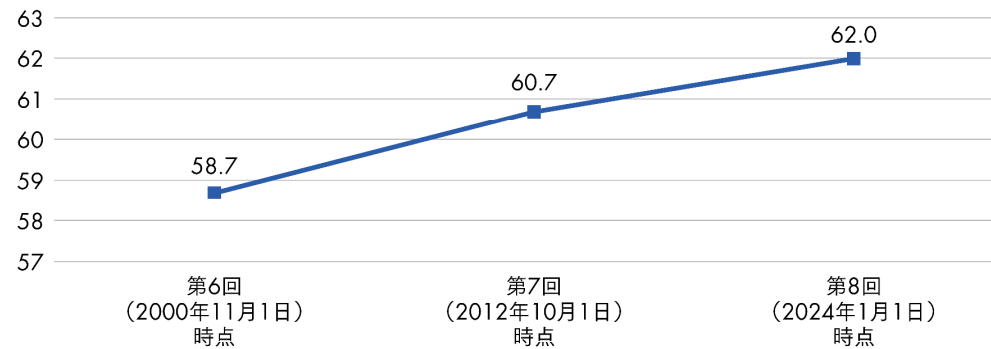
《図表-⑧》回答者の世代 (n=8,046)



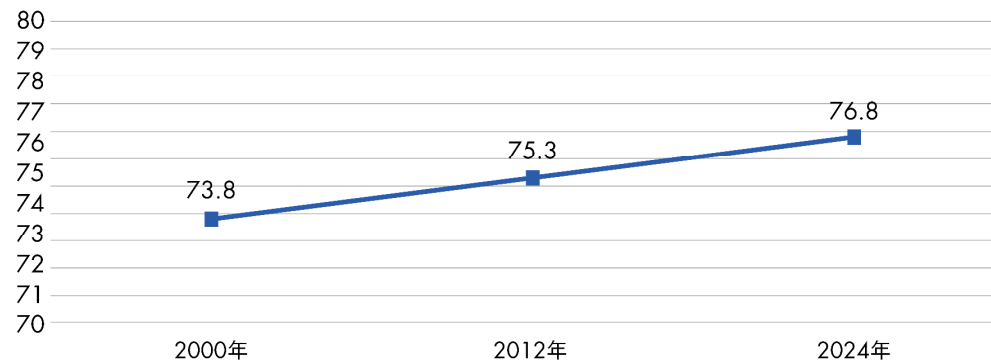
■第6回（2000年11月1日）時点 ■第7回（2012年10月1日）時点 ■第8回（2024年1月1日）時点

《図表-⑩》2000年以降の「教勢調査」調査期日における「住職」・「教会主管者」・「代務者」・「輪番」等の世代分布

(P25～26) 【参考資料】住職の高齢化の状況



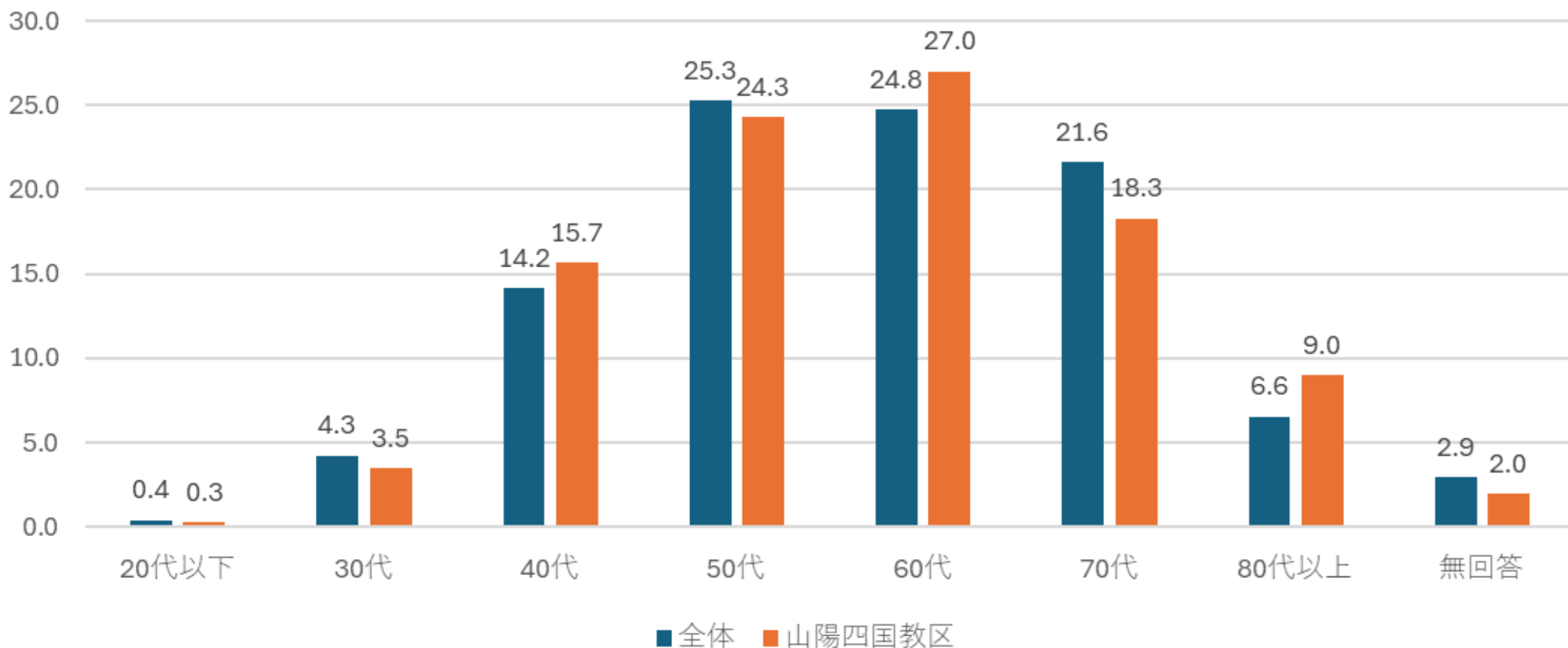
《図表-⑨》2000年以降の「教勢調査」調査期日における「住職」・「教会主管者」・「代務者」・「輪番」等の平均年齢



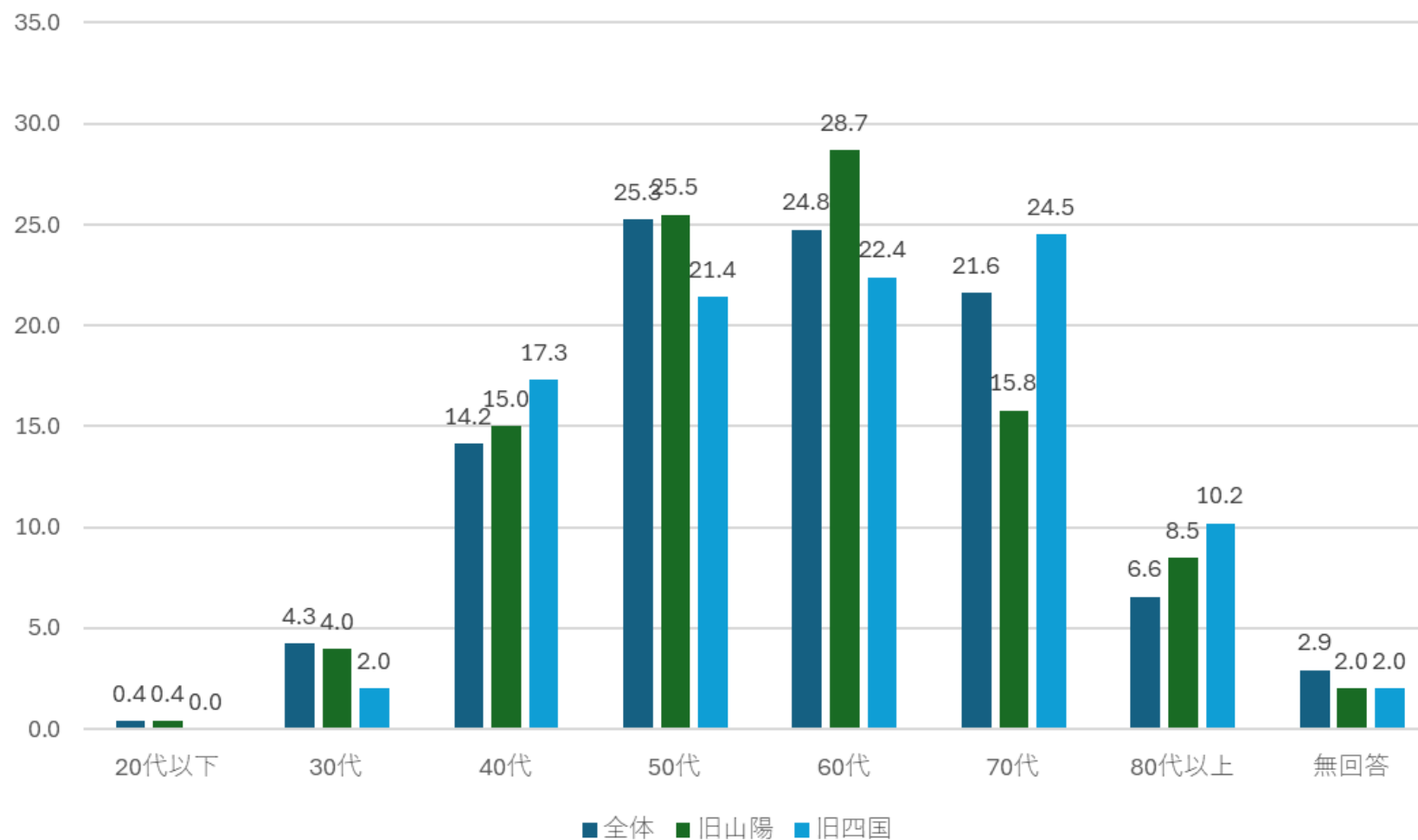
《図表-⑪》2000年以降の「教勢調査」実施年における「住職」等交代時の平均年齢

※住職任命申請または代務者任命申請、もしくは死亡届が出された時点での前住職の平均年齢

(P24～26) 《回答者世代》 教区と全体との比較



(P24~26) 《回答者世代》 旧教區別



第7章

寺院の求める教化支援を考える
－教化に関する取り組みの現状と展望－

企画調整局

(P162) 1. はじめに – 寺院の志向する取り組みと宗派施策の橋渡し –

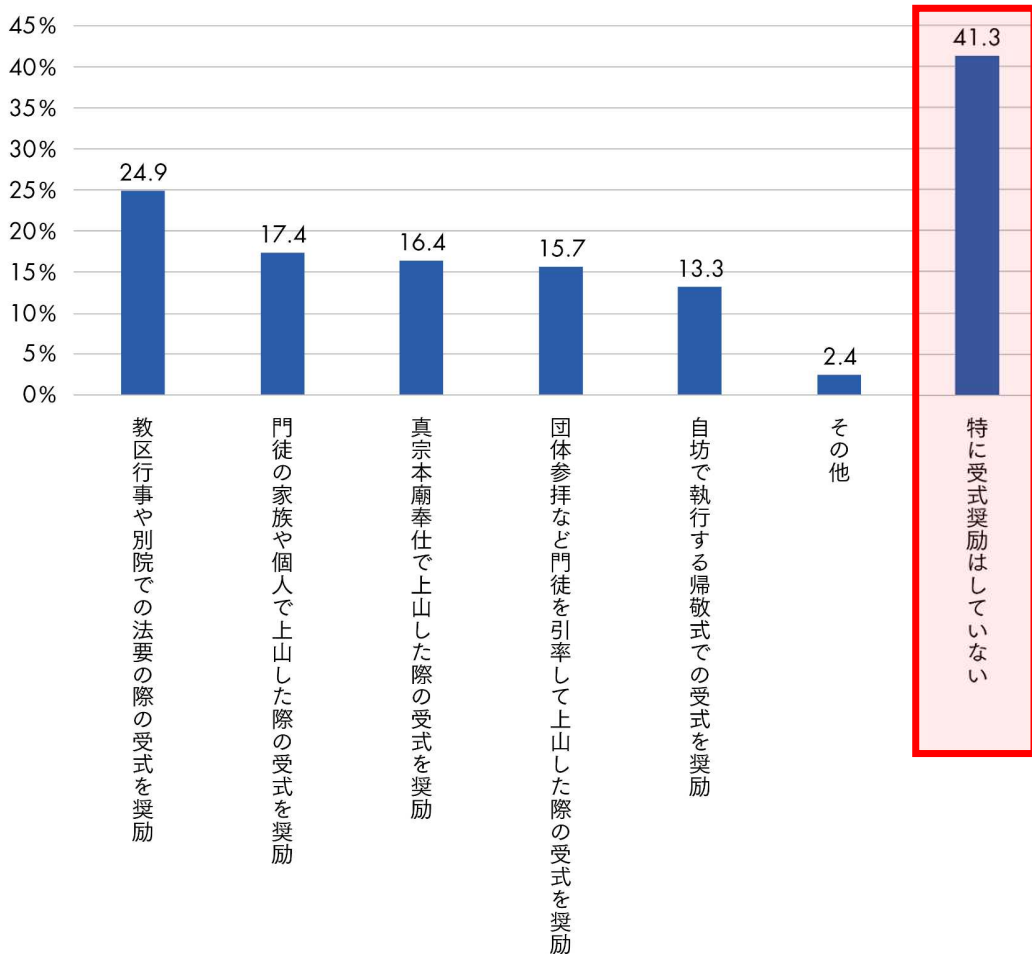
(P162) 第7章の目的

- ・ 寺院が積極的に取り組みたいと考えていることの傾向をとらえ、宗派が取り組む各種施策が各寺院・教会の求めるものとなっているかどうかの確かめ

👉 「念仏の行者たる一人の誕生」を期した
寺院の活性化に寄与する今後の施策立案、見直し等の検討に資する資料

(P162～164) 2. 法要・行事から「帰敬式」に注目

(P162～164) 帰敬式実践運動の新たな可能性



3,320カ寺

※現在の執行寺院数：1,350カ寺
(16.8%)

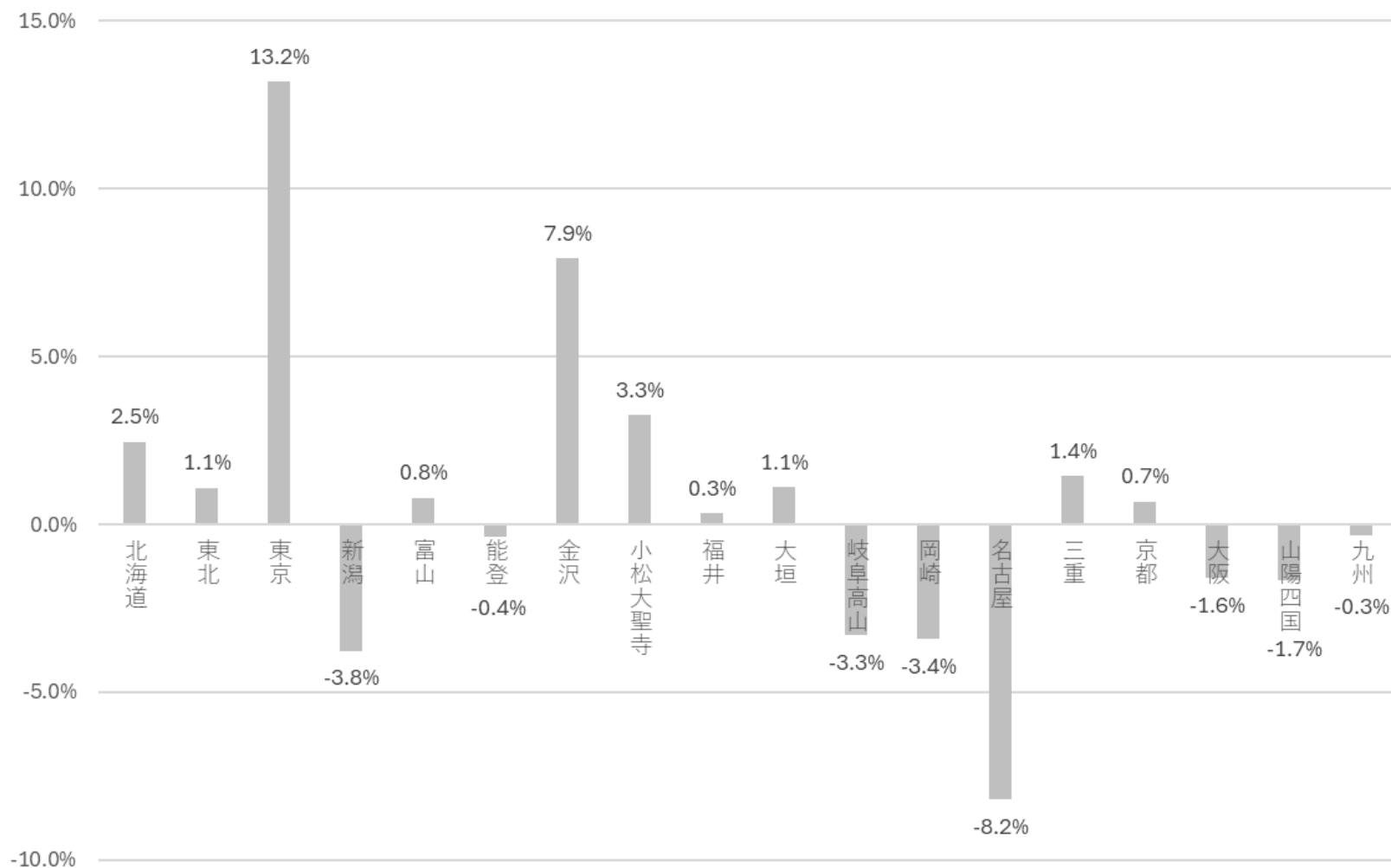
↑
前回比で201カ寺増

- ・ここ10年の執行寺院の増加
(過去との比較で、唯一増加傾向を示した法要・行事)
- ・今後取り組みたい割合：1割強 (903カ寺)
- ・門徒に対して帰敬式受式の働きかけをしていない寺院：4割強

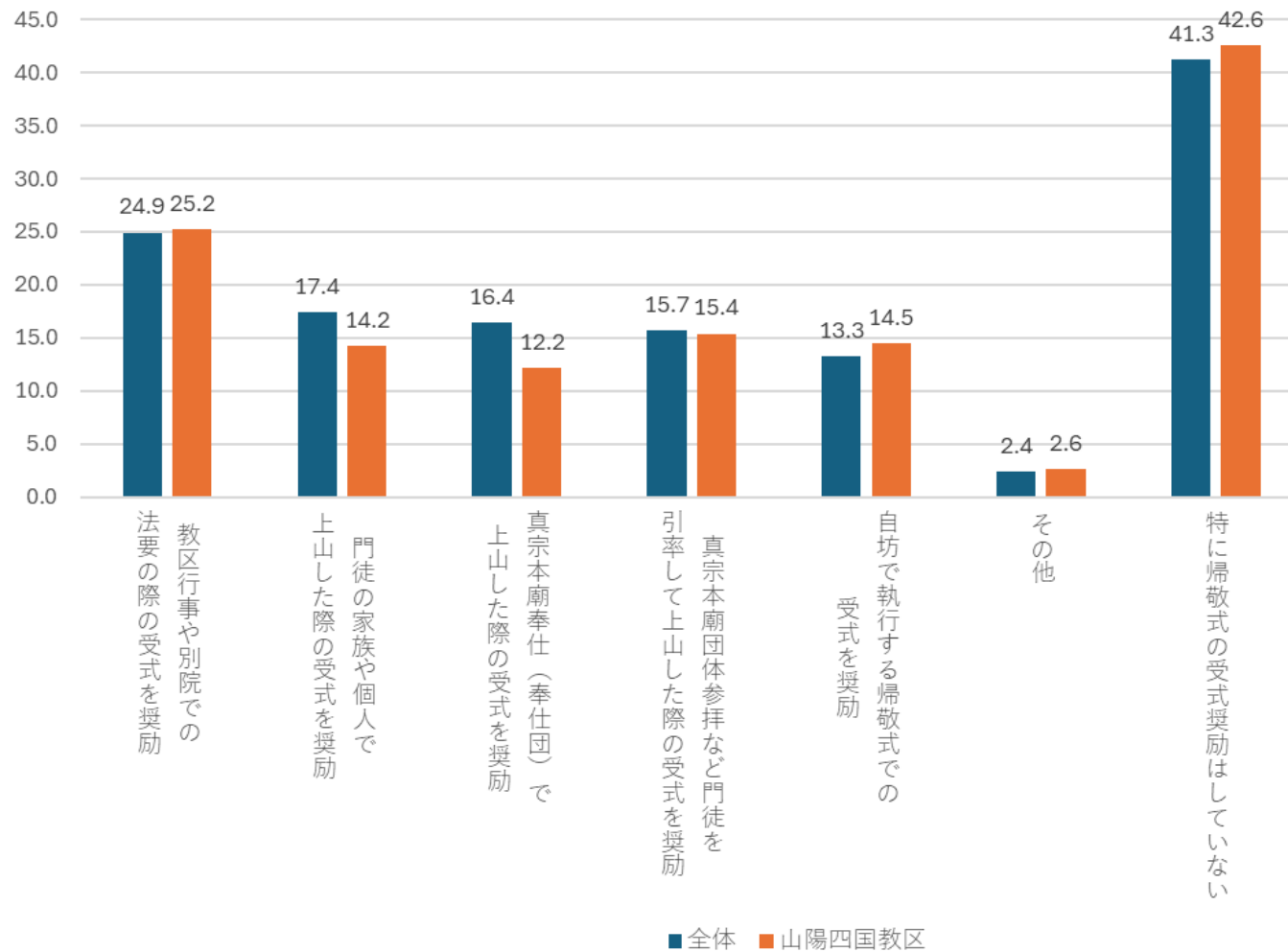
👉 帰敬式実践運動の新たな可能性あり

《図7-②》帰敬式の奨励内容 (n=8,046)

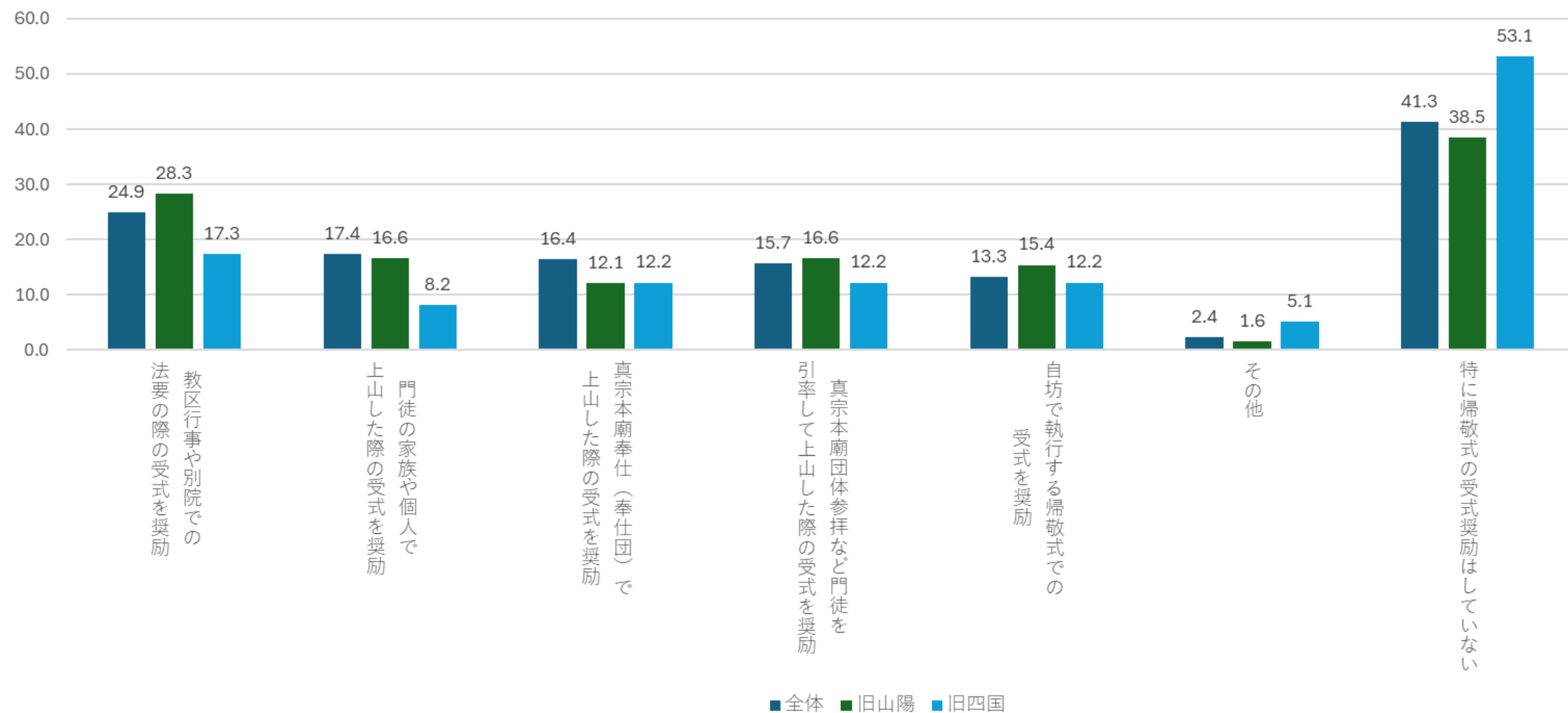
教区の寺院における「帰敬式」執行の実際（全国との比較）



教区の帰敬式の奨励方法（全体との比較）



《旧教区比較》 教区の帰敬式の奨励方法（全体との比較）

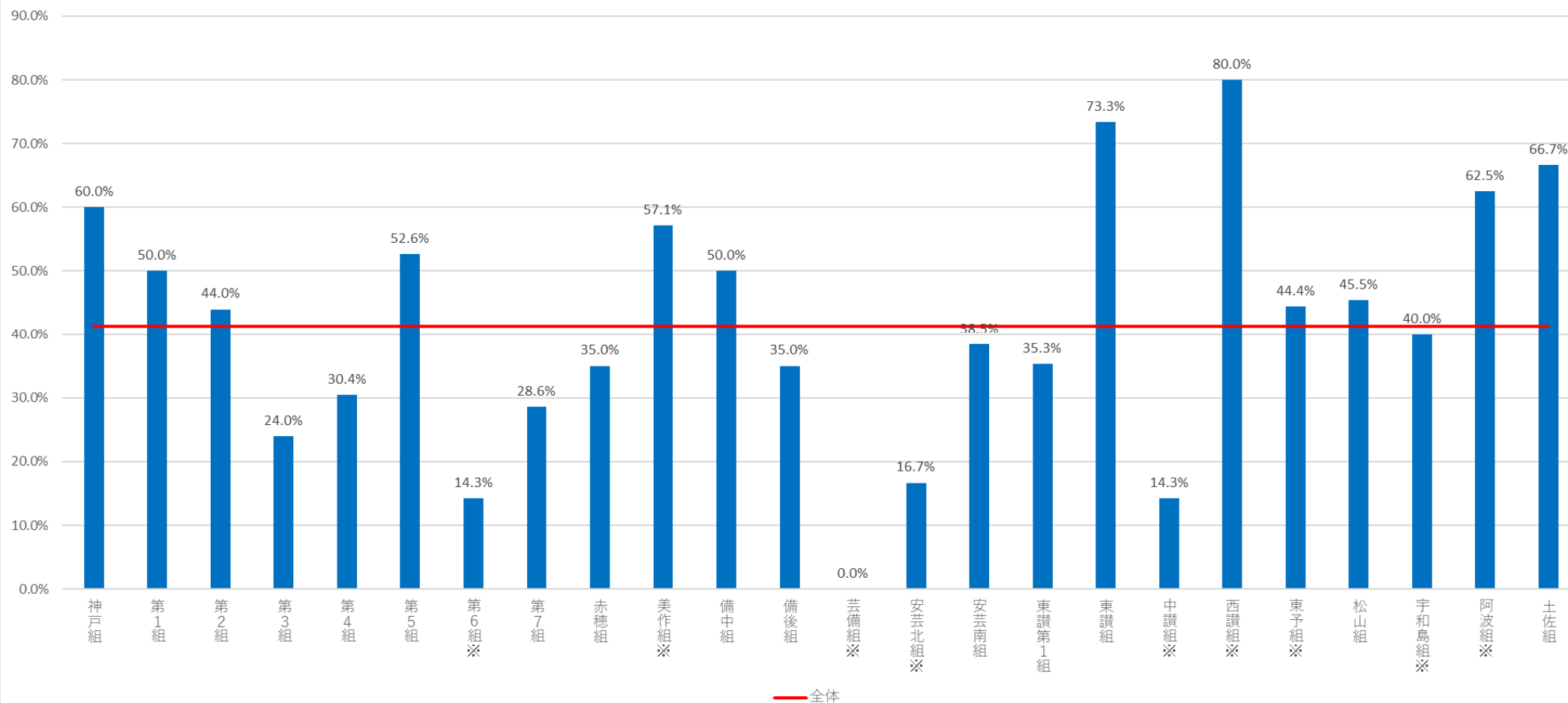


《組別》 「特に帰敬式の受式奨励はしていない」 寺院割合

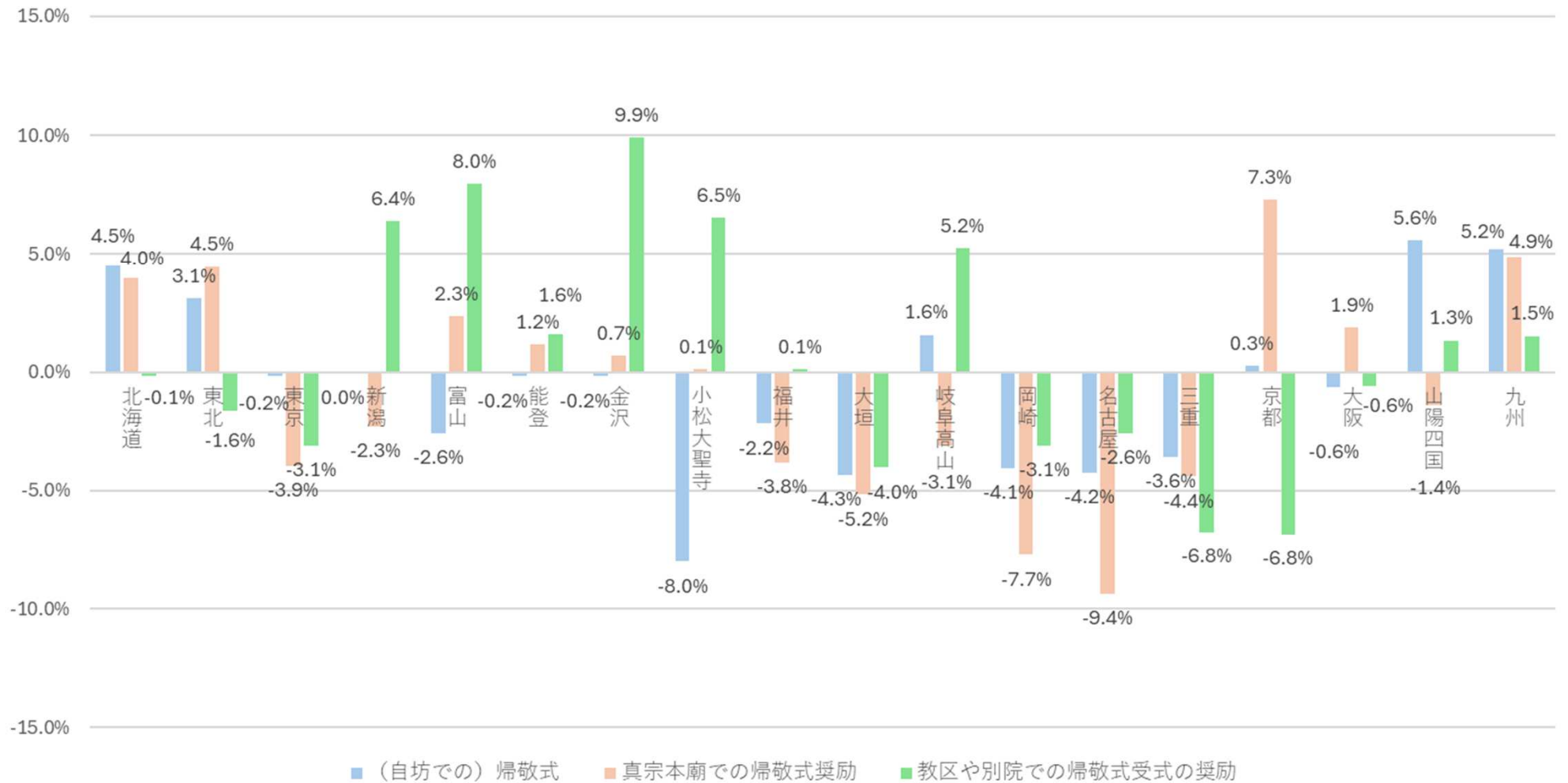
※：回答数10カ寺以下の組

⇒ 比較の際注意！

【問33】 帰敬式の奨励：6.特に受式奨励はしていない



教区の今後取り組みたい「帰敬式」の形態（全国との比較）

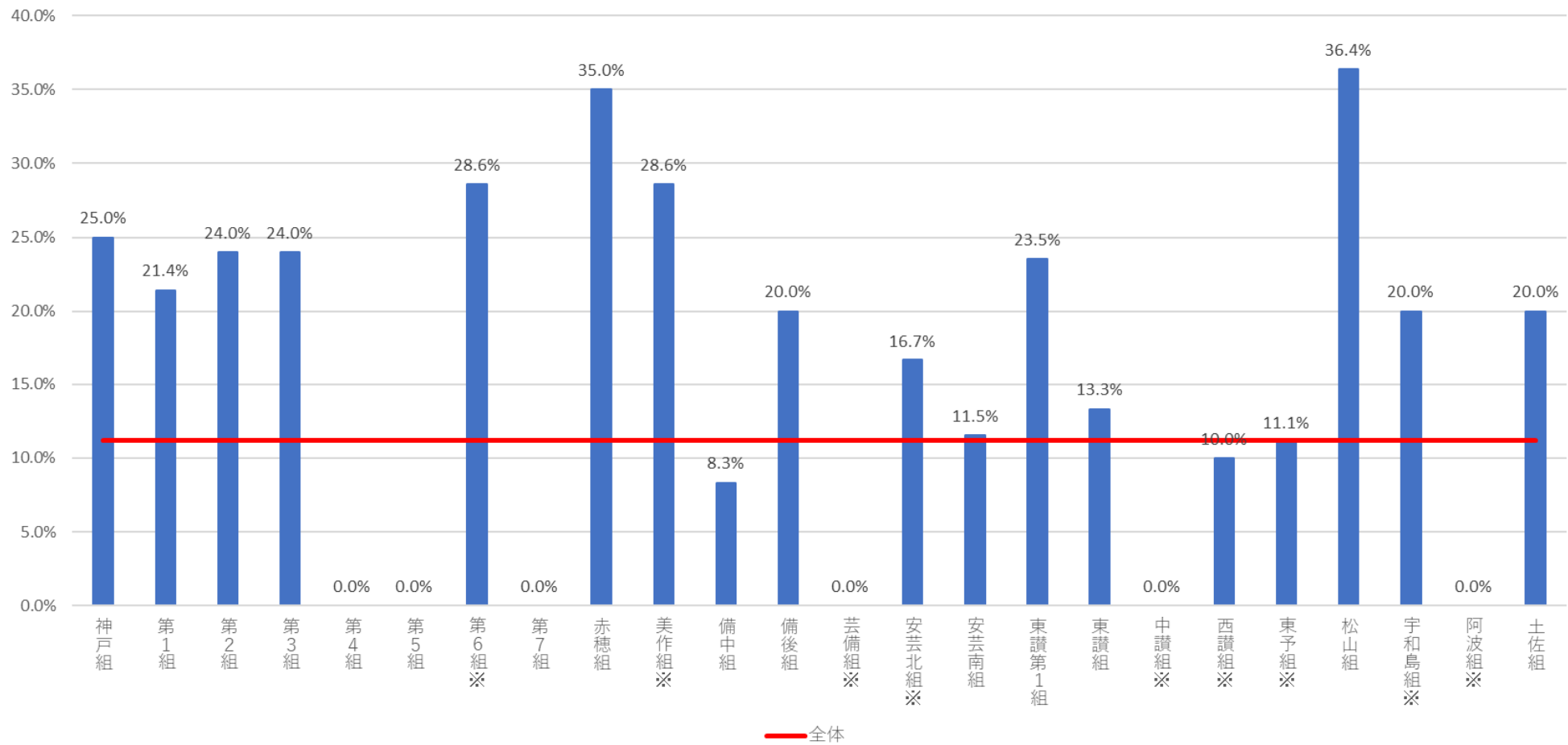


《組別》寺院における「帰敬式」に今後新たに取り組みたい割合

※：回答数10カ寺以下の組

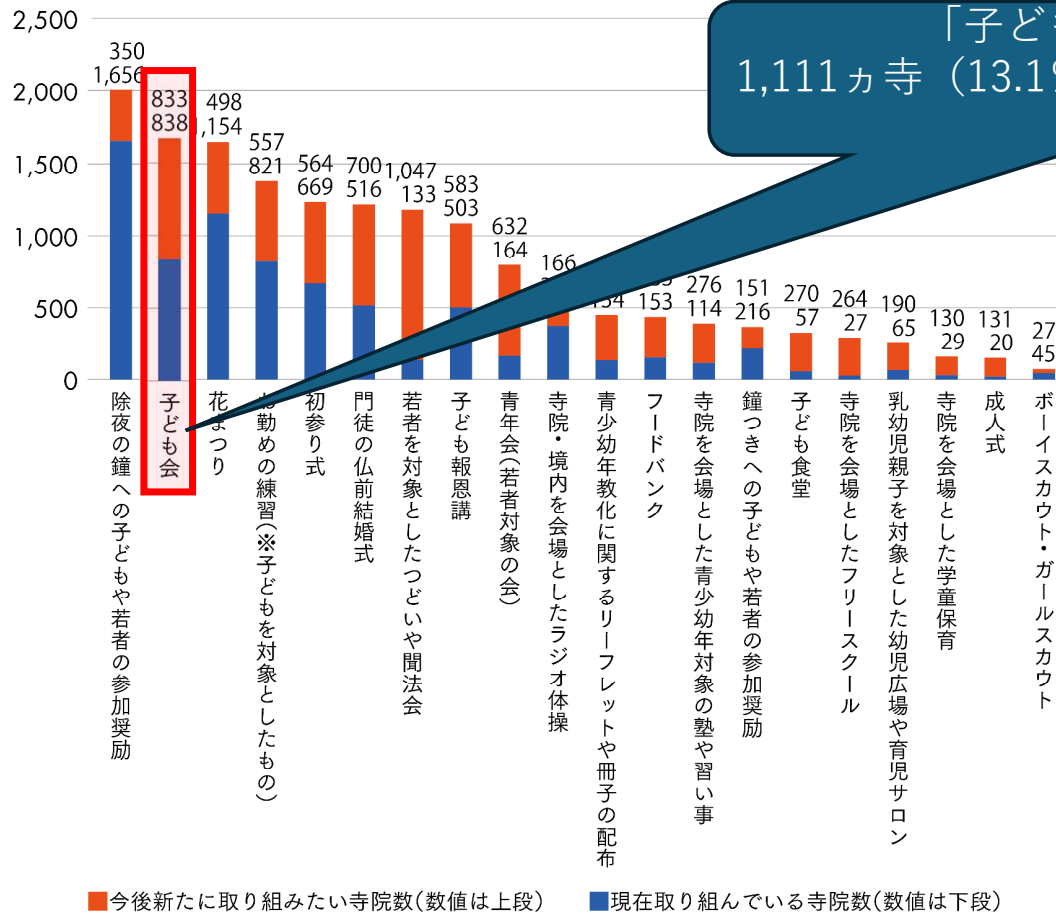
⇒ 比較の際注意！

【問76-①】 今後取り組みたい《法要・行事》：22.「帰敬式」



(P164～168) 3. 青少幼年教化推進の可能性

(P165・166) 青少幼年教化推進の可能性 ―子ども会―



「正信偈」ができる門徒割合が多い教区と相関関係あり

「子ども会」に今後取り組みたい寺院数は、現在の結成数とほぼ同数

👉 児童教化における
青少年教化推進の可能性

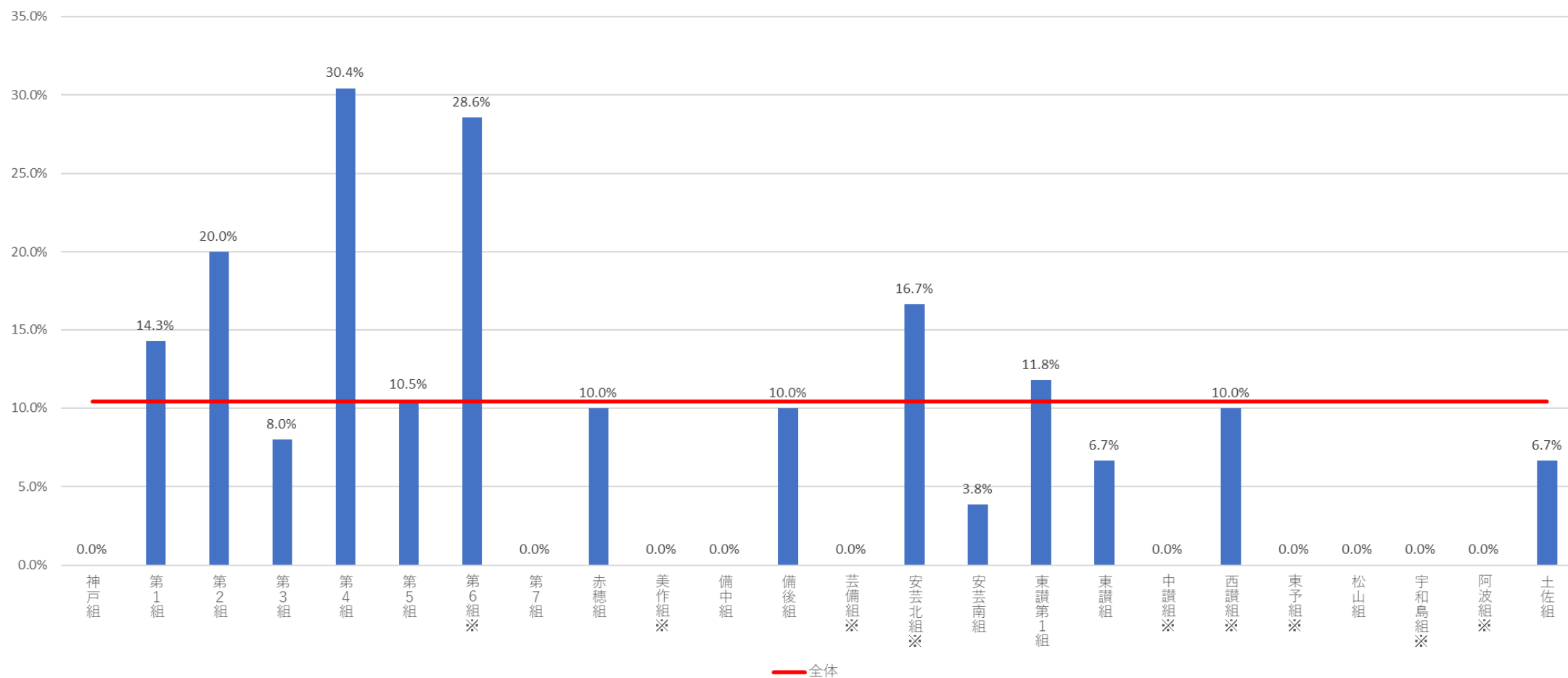
《図7-③》青少年教化に関する設問における
「現在取り組んでいるもの」・「今後新たに取り組みたいもの」(n=8,046)

《組別》「子ども会」設置率

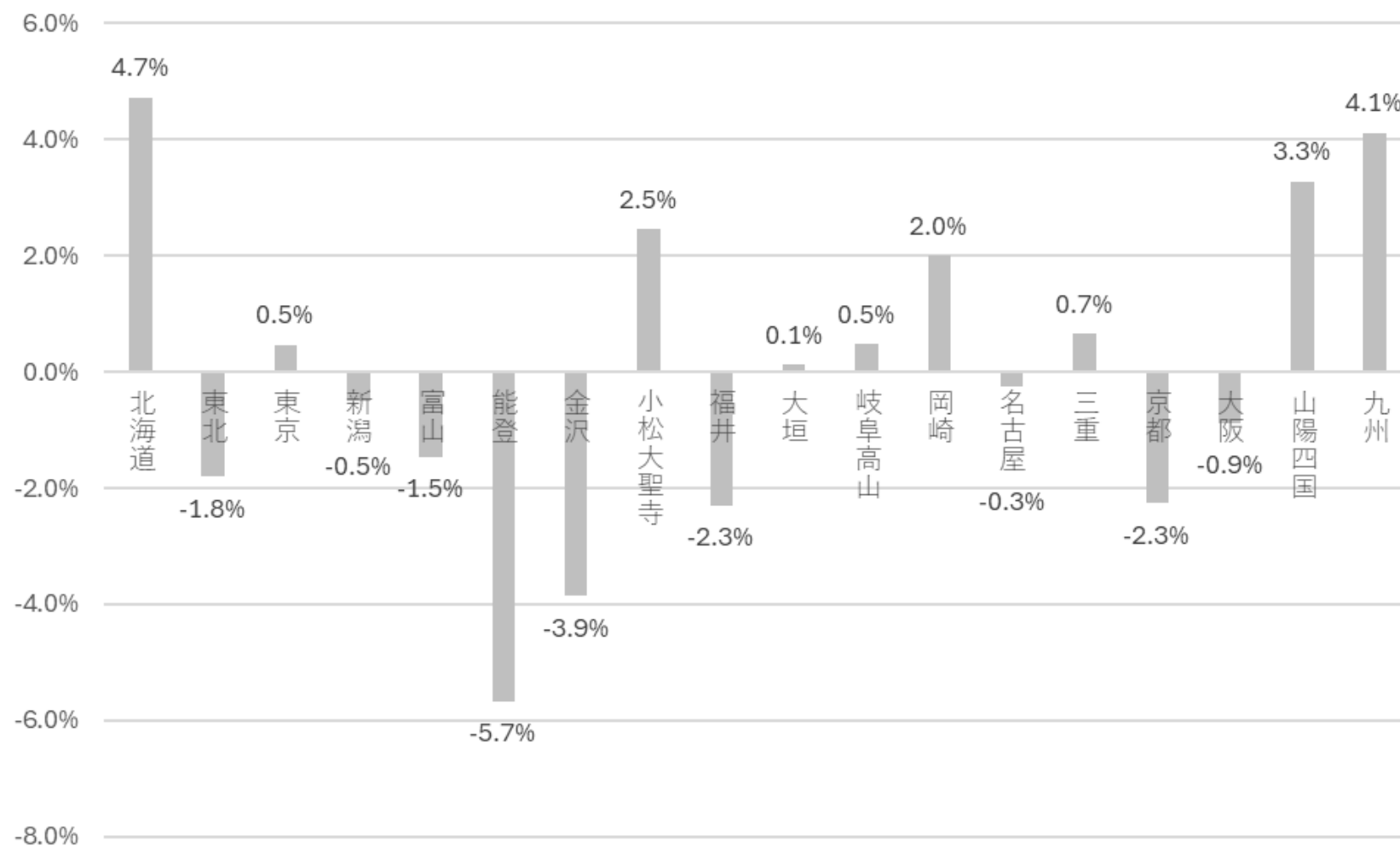
※：回答数10カ寺以下の組

⇒ 比較の際注意！

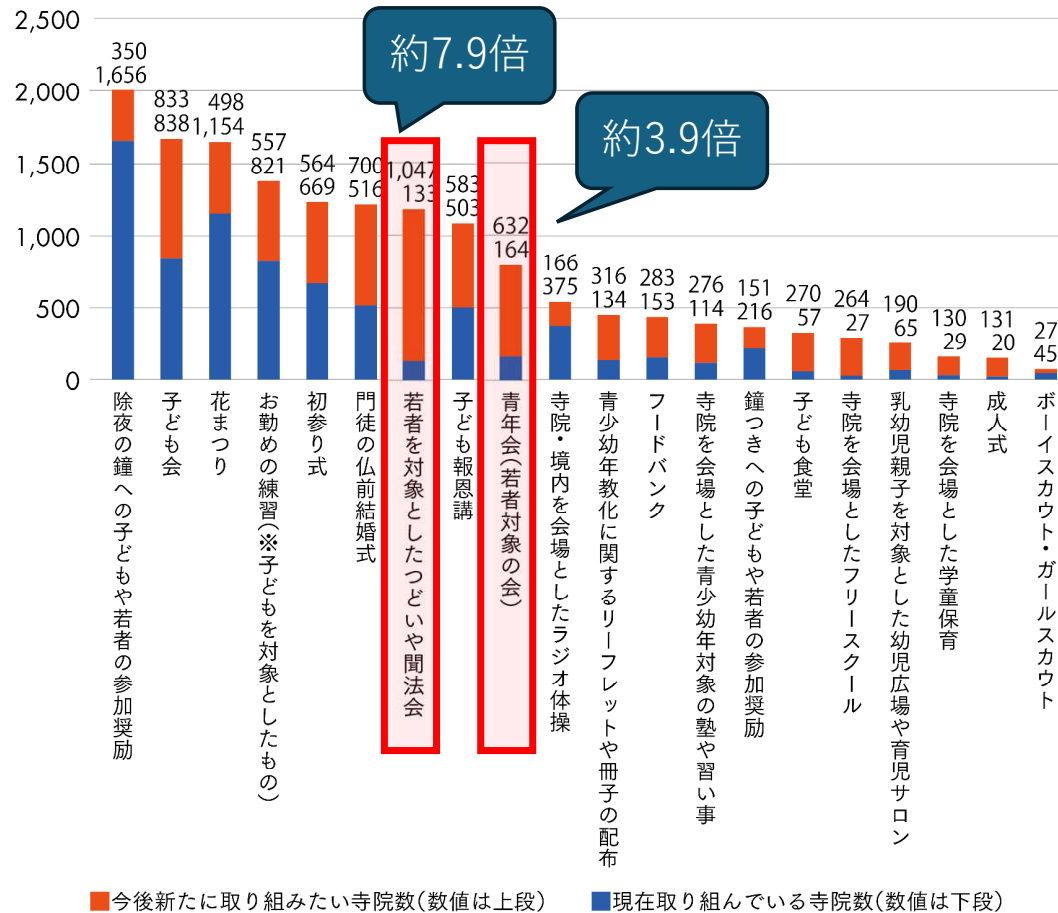
【問23】 教化組織：3.「子ども会」



教区の「子ども会」に今後取り組みたい寺院割合（全国との比較）



(P165) 青少幼年教化推進の可能性 ―注目すべき伸びしろ―



青少幼年教化の伸びしろ

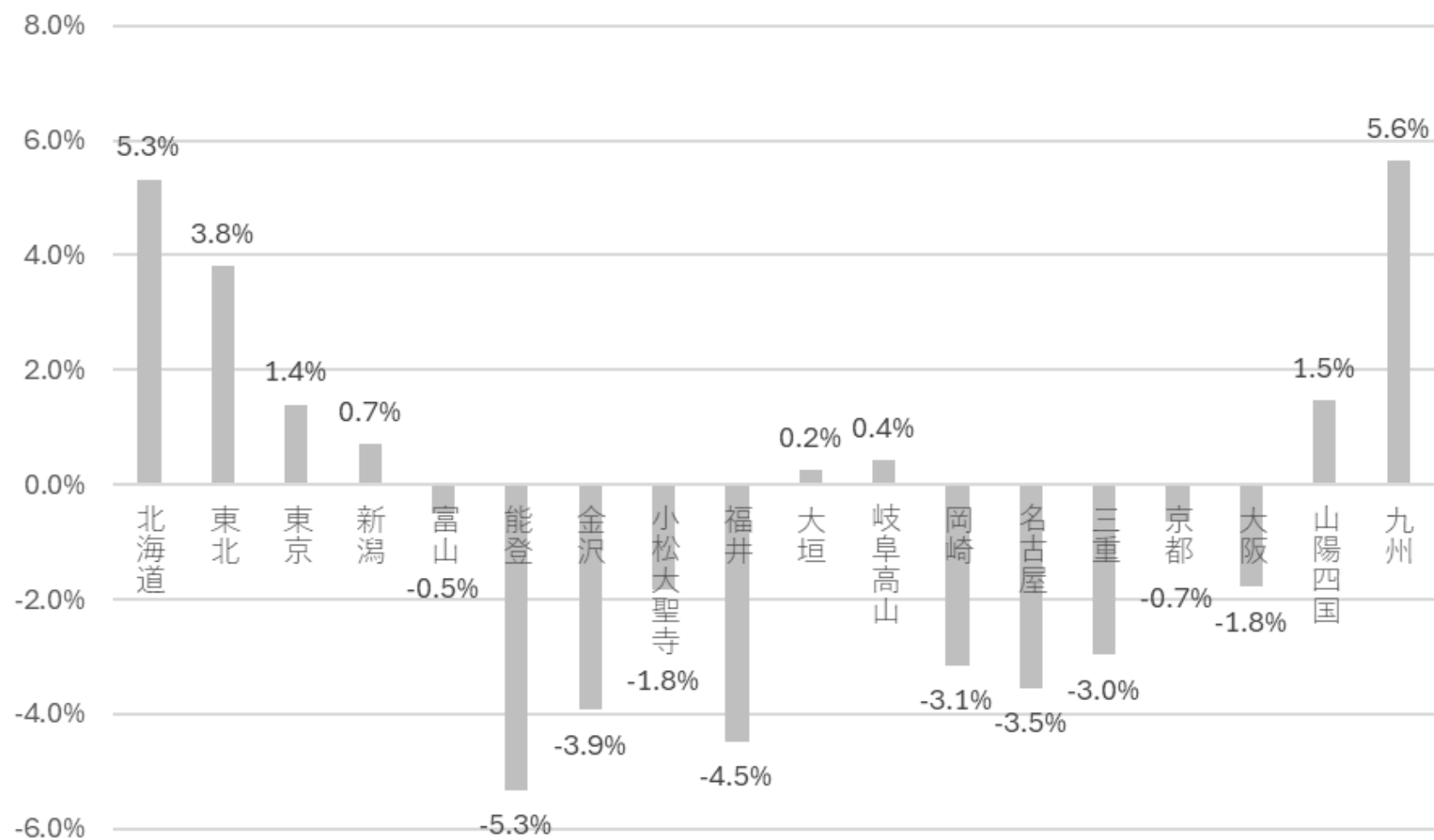
特に若者教化にその傾向が強い

👉 若者教化の取り組みの今後の可能性

《図7-③》 青少幼年教化に関する設問における

「現在取り組んでいるもの」・「今後新たに取り組みたいもの」(n=8,046)

教区の「若者を対象としたつどいや聞法会」に今後取り組みたい寺院割合（全国との比較）

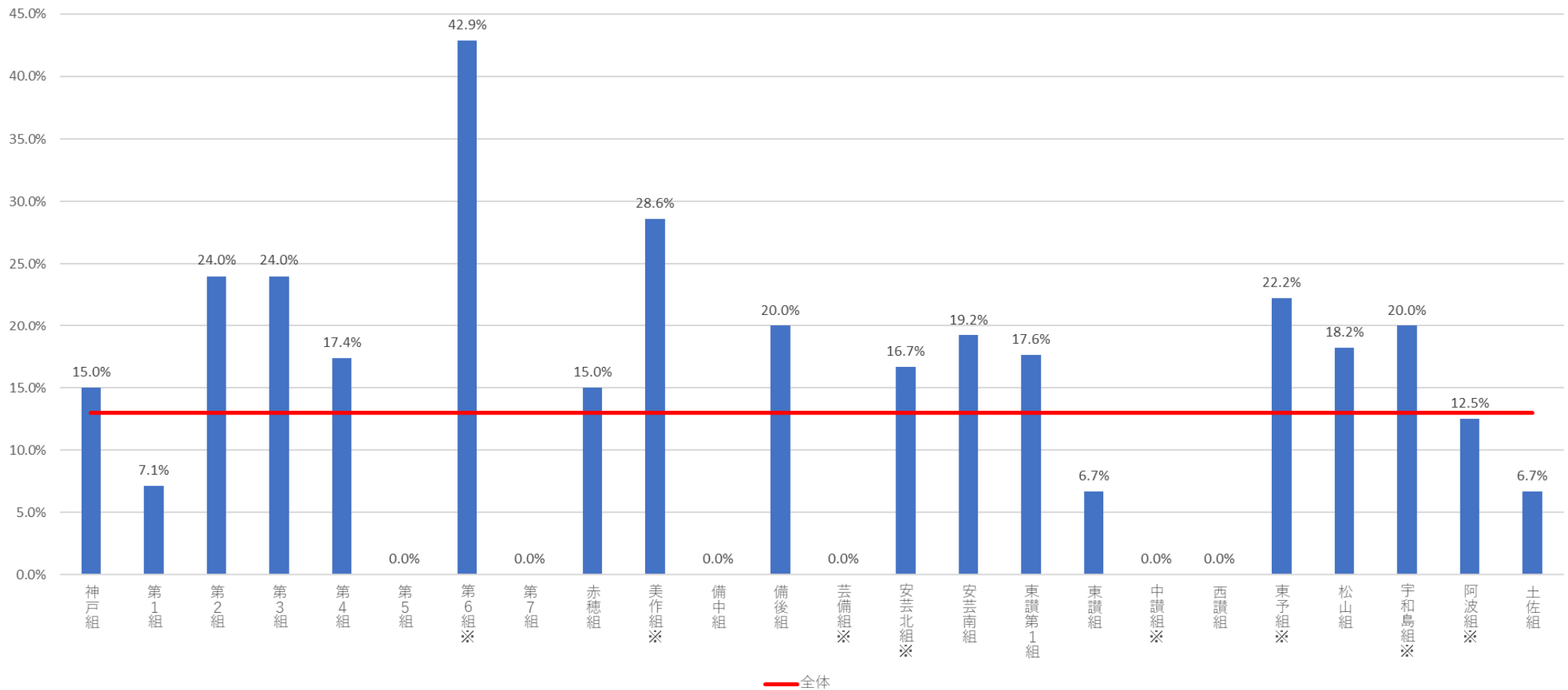


《組別》 「若者を対象としたつどいや聞法会」に今後新たに取り組みたい割合

※：回答数10カ寺以下の組

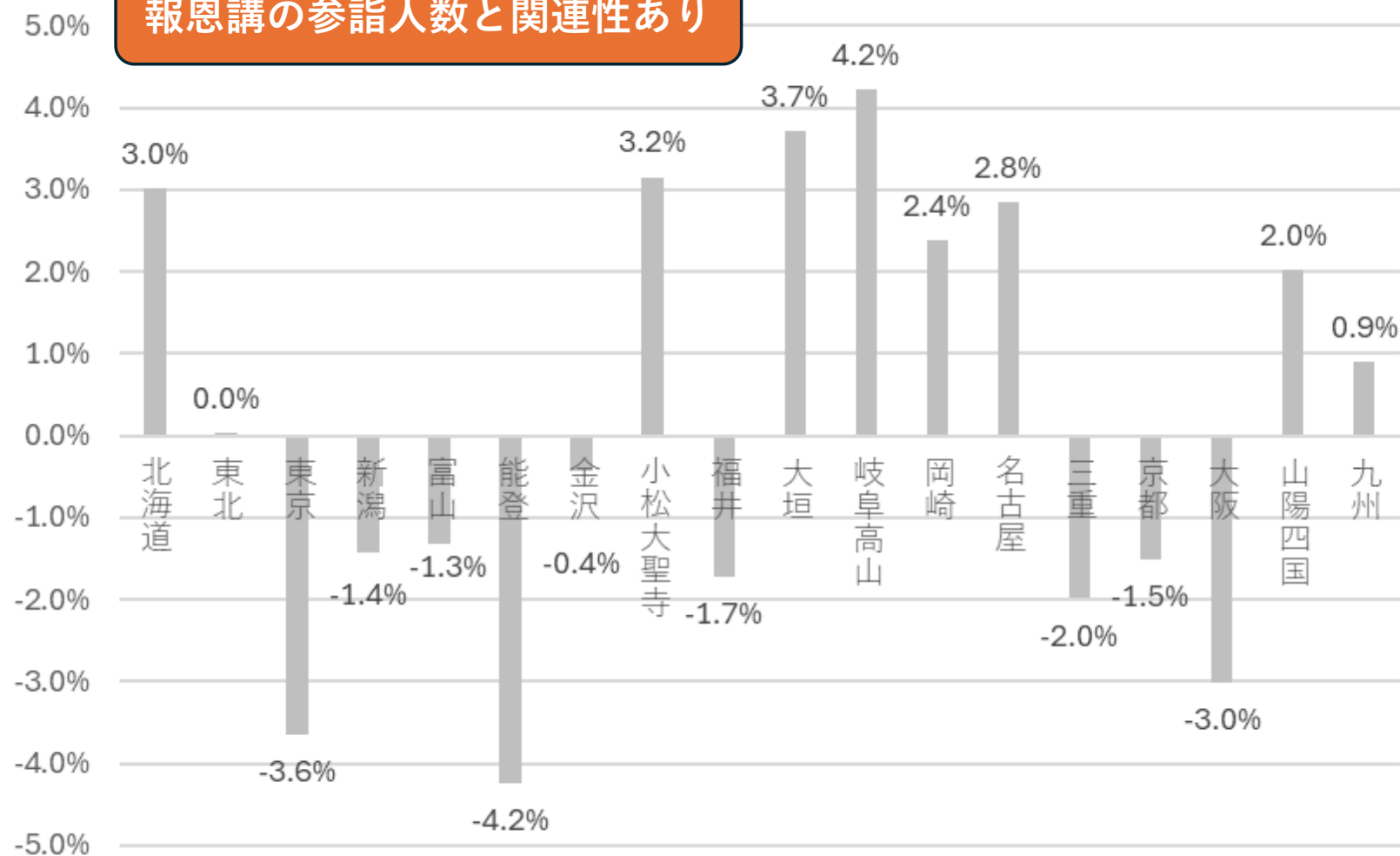
⇒ 比較の際注意！

【問76－④】 今後新たに取り組みたい《教化事業・活動など》：6.若者を対象としたつどいや聞法会



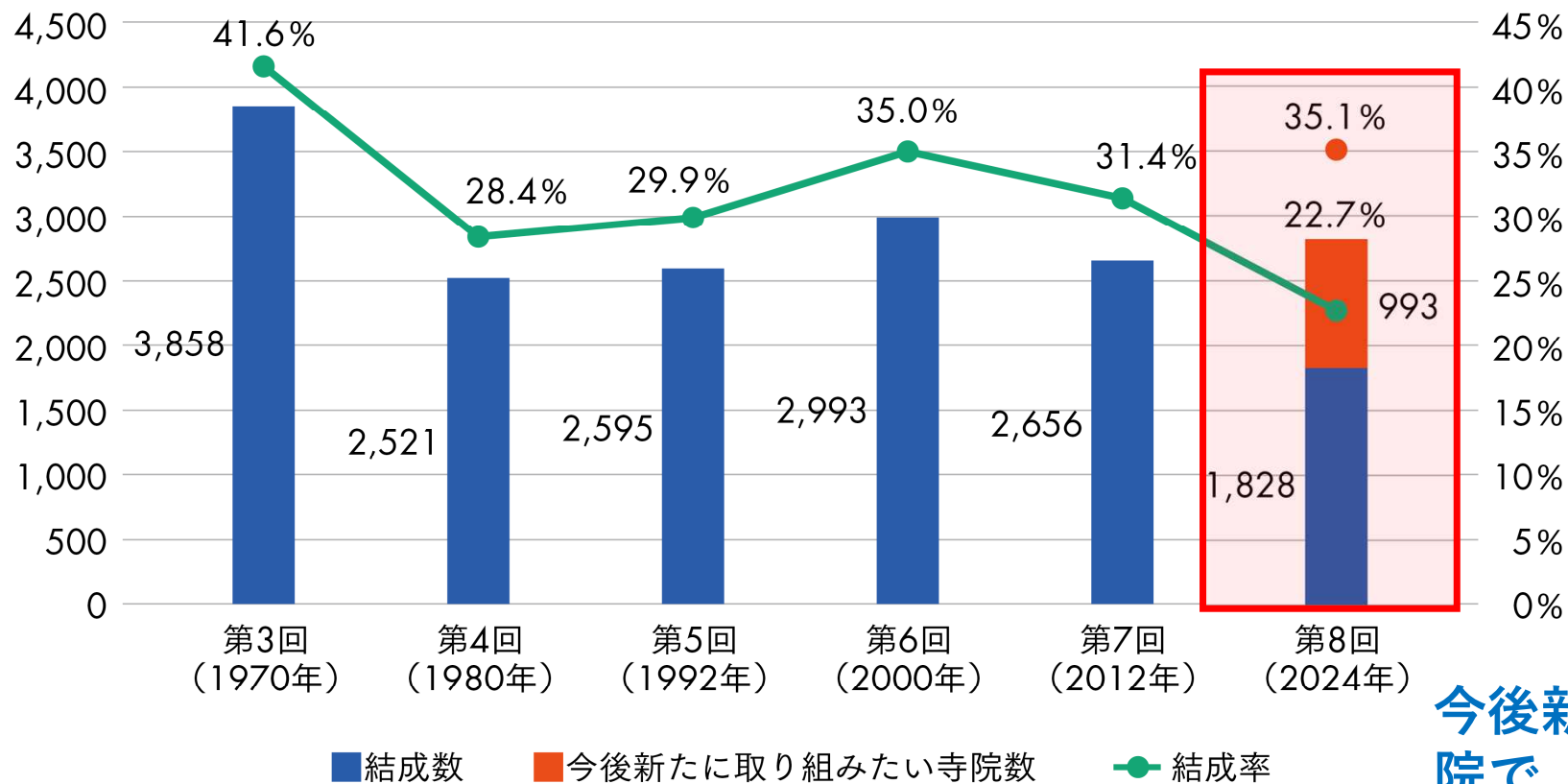
教区の「子ども報恩講」に今後取り組みたい寺院割合（全国との比較）

報恩講の参詣人数と関連性あり



(P168～169) 4. 同朋会運動の原点 – 「同朋の会」結成推進の可能性 –

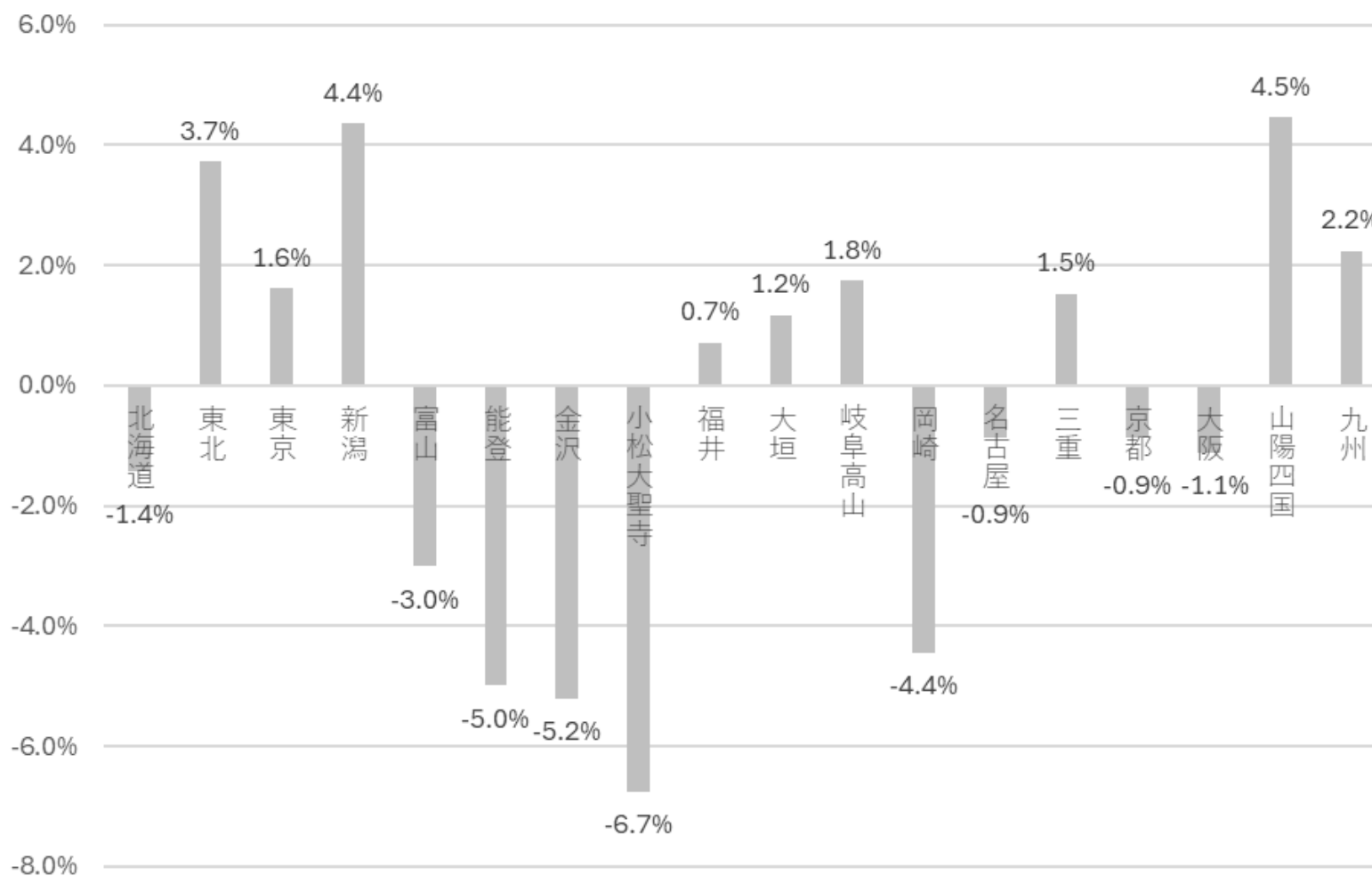
(P168・169) 「同朋の会」 結成推進の可能性



《図7-⑧》「同朋の会」 結成数と結成率の推移

今後新たに取り組みたい寺院で「同朋の会」がすべて結成されたなら、結成寺院数は2,821カ寺

教区の「同朋の会」に今後取り組みたい寺院割合（全国との比較）

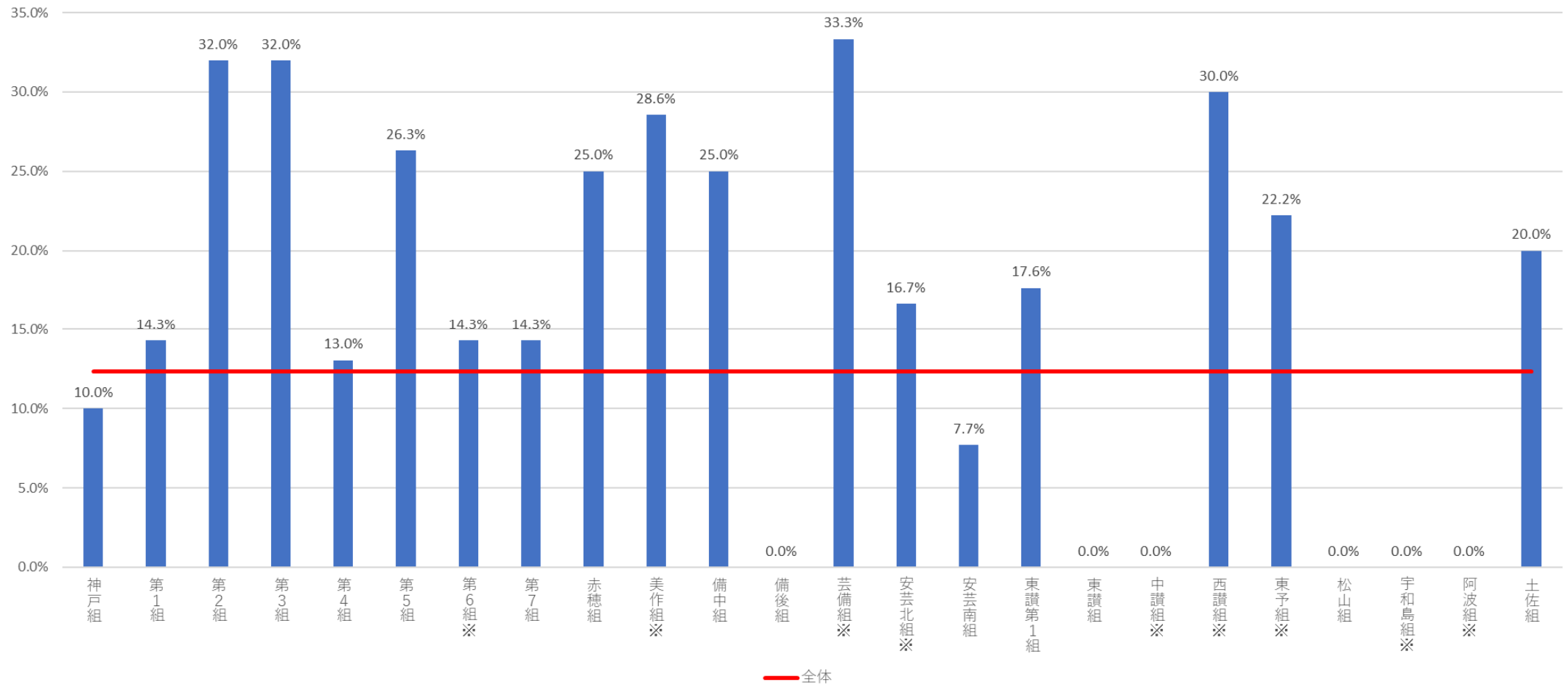


《組別》 「同朋の会」 に今後新たに取り組みたい割合

※：回答数10カ寺以下の組

⇒ 比較の際注意！

【問76-③】 今後新たに取り組みたい《教化組織》：1.「同朋の会」



(P170～173) 5. 寺院において最も取り組まれている教化形態 －文書伝道・掲示伝道の現状－

(P170) 文書伝道の現状 その1

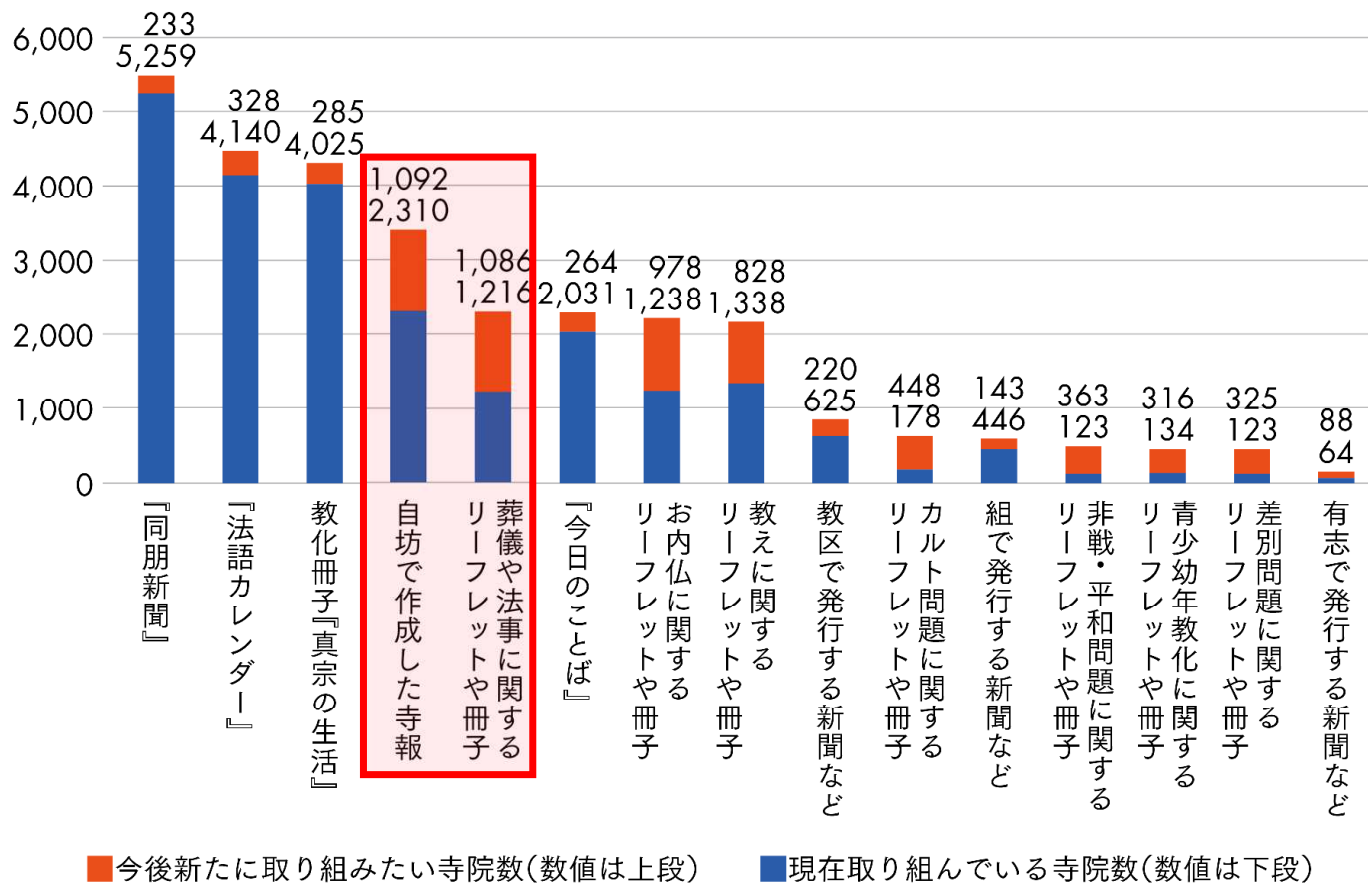
今後新たに取り組みたい寺院数が最も多いのは
「自坊で作成した寺報」

2番目は「葬儀や法事に関するリーフレットや冊子の配布」

👉 寺報作成サポート

葬儀や法事に関するリーフレットや冊子の充実

寺報に転載可能な葬儀や法事に関するコンテンツの充実も必要



《図 7-⑩》 文書伝道における「現在取り組んでいるもの」・「今後新たに取り組みたいもの」
(n=8,046)

《組別》『同朋新聞』の配布状況

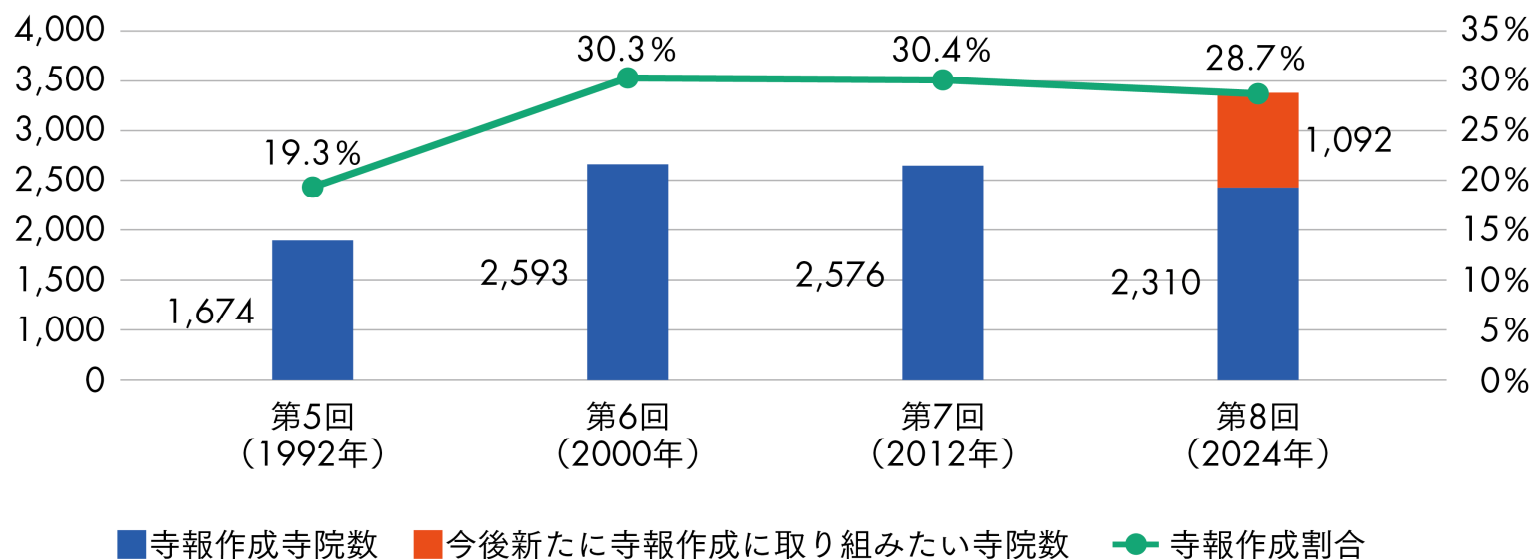
※：回答数10カ寺以下の組

⇒ 比較の際注意！



(P171・172) 文書伝道の現状 その2 ― 寺報作成寺院の状況 ―

今後新たに取り組みたい文書伝道トップの
「自坊での寺報作成」は、
2000年以降、約2,300～2,600ヵ寺で推移



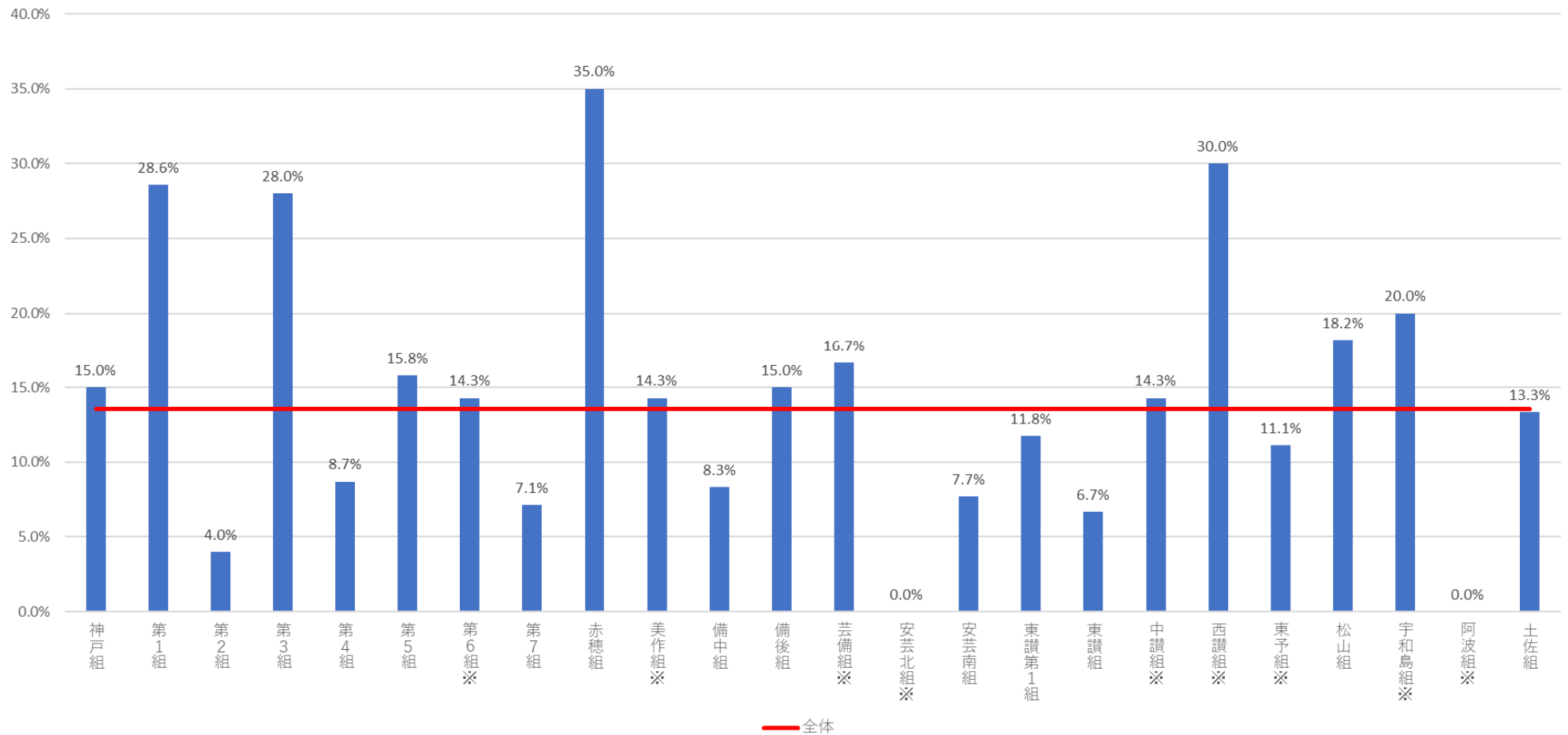
《図7-⑫》 自坊での寺報作成寺院の推移

《組別》 「自坊で作成した寺報の配布」に今後新たに取り組みたい割合

※：回答数10ヵ寺以下の組

⇒ 比較の際注意！

【問76－⑥】 今後新たに取り組みたい《文書伝道》：1.自坊で作成した寺報の配布



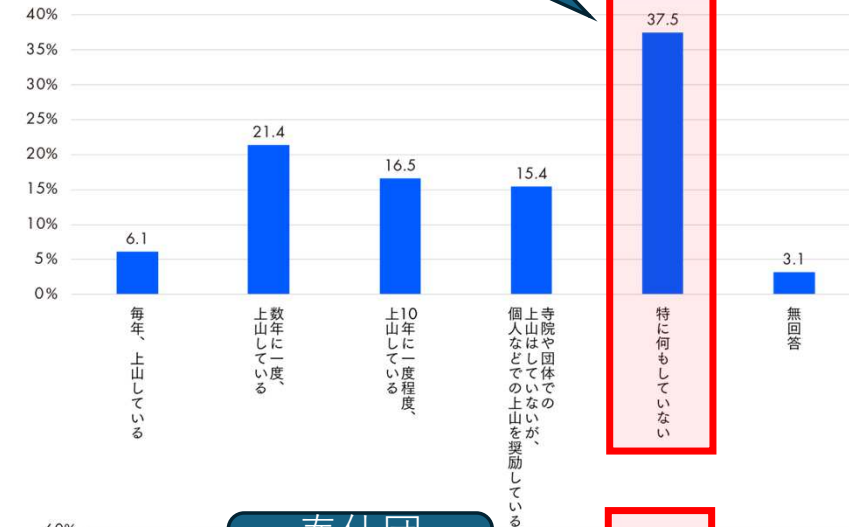
(P173～175) 6. 寺院と本山の往復運動 – 真宗本廟へのさらなる上山奨励を –

(P173) 寺院と本山の往復運動 その1

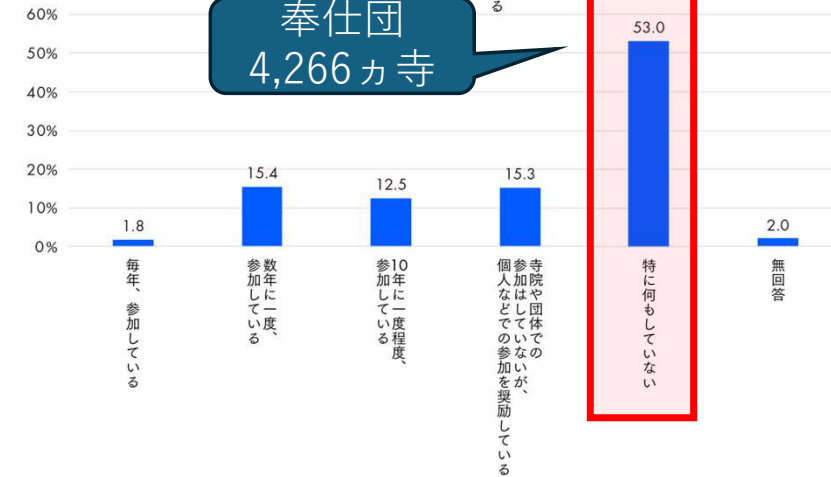
《表7-②》「今後新たに取り組みたい教化事業など」上位20項目

順位	項目	寺院数 現在取り組んでいる	寺院の割合 現在取り組んでいる	今後新たに 取り組みたい 寺院数	今後新たに 取り組みたい 寺院の割合	将来的な 伸び率	伸び率の 順位
1	寺院単位での真宗本廟（本山）への団体参拝	3,543	44.0%	2,113	26.3%	59.6%	⑫
2	法語掲示板への法語掲示	4,857	60.4%	1,939	24.1%	39.9%	⑰
3	お勤めの練習（※対象年齢を限定しないもの）	1,123	14.0%	1,797	22.3%	160.0%	⑥
4	寺院を会場とした通夜・葬儀	—	—	1,570	19.5%	—	—
5	真宗本廟奉仕（奉仕団）への寺院単位での参加	2,387	29.7%	1,553	19.3%	65.1%	⑩
6	ホームページ	793	9.9%	1,468	18.2%	185.1%	⑤
7	合同墓	2,287	28.4%	1,436	17.8%	62.8%	⑪
8	本山が配信するYouTube動画の活用	—	—	1,304	16.2%	—	—
9	真宗本廟（本山）での帰敬式受式の奨励	—	—	1,278	15.9%	—	—
10	東本願寺仏事サポートセンター（東京・福岡）の「仏事代行」制度	320	4.0%	1,129	14.0%	352.8%	②

団体参拝
3,014カ寺



奉仕団
4,266カ寺



(P173) 寺院と本山の往復運動 その2

現在「特に何もしていない」が、将来的に

団体参拝をしたい : 2,113ヵ寺（現在「特に何もしていない」の70.1%）

奉仕団に参加したい : 1,553ヵ寺（現在「特に何もしていない」の36.4%）

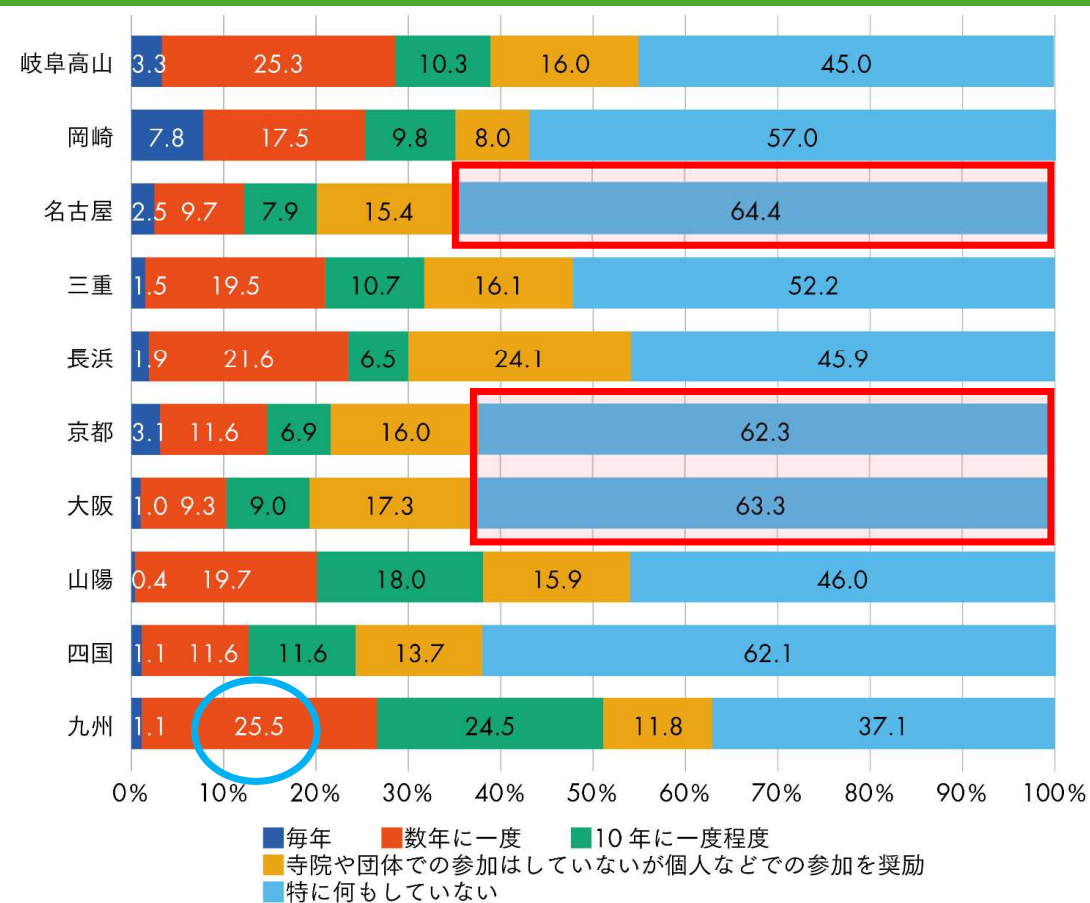
 いまだ取り組んだことのない

これらの寺院への上山奨励を促す取り組みの重要性と可能性

(P173・174) 寺院と本山の往復運動 その3 — 教区別真宗本廟奉仕の状況 —

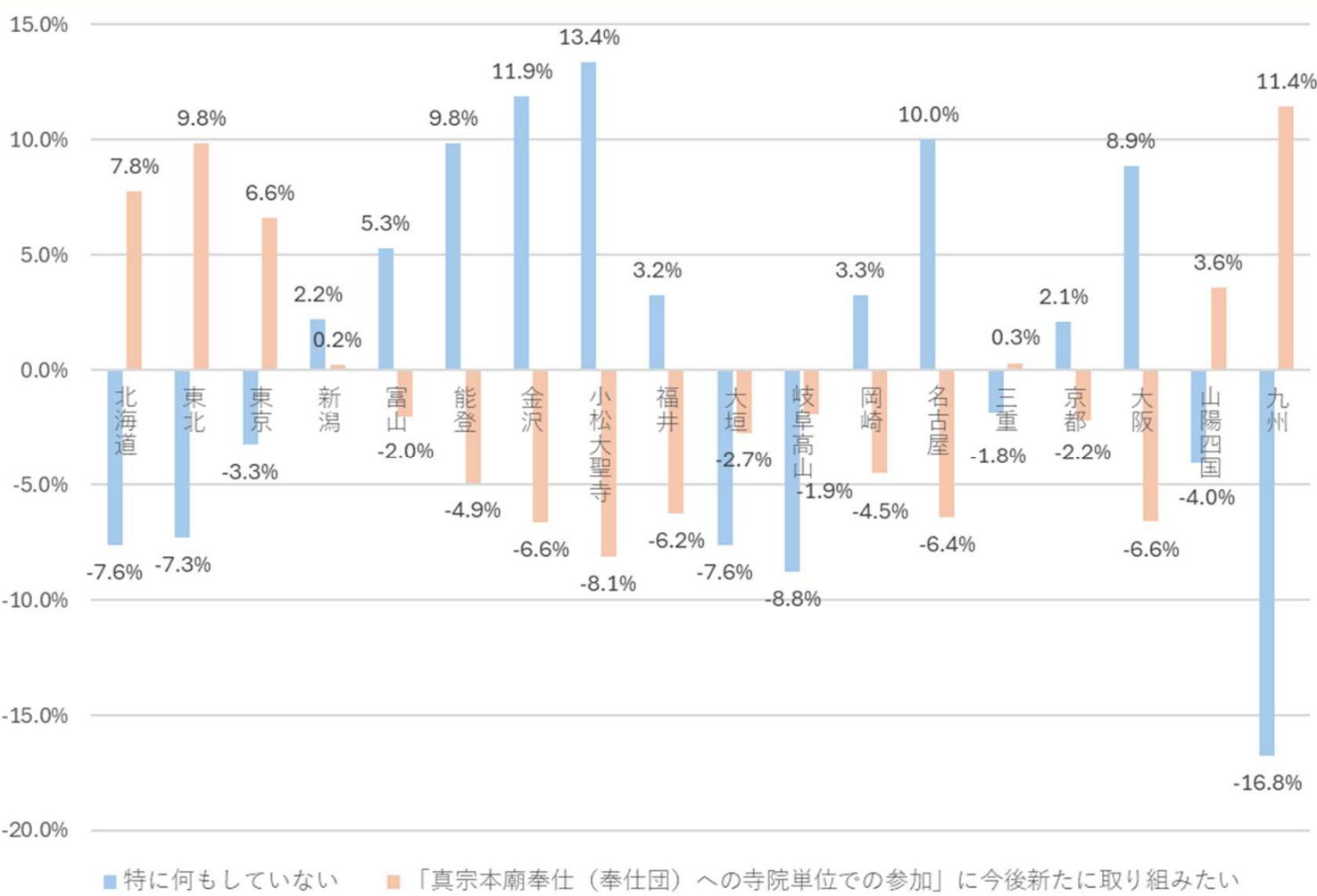


遠い距離の教区からでも奉仕団への参加がある一方、近畿・北陸・名古屋など「特に何もしていない」の割合が高い



《図7-⑭》教区別(調査時点)の門徒を引率しての真宗本廟奉仕(奉仕団)への参加状況 (n=8,046)

教区の「門徒を引率しての真宗本廟奉仕（奉仕団）」の今後の可能性（全国との比較）

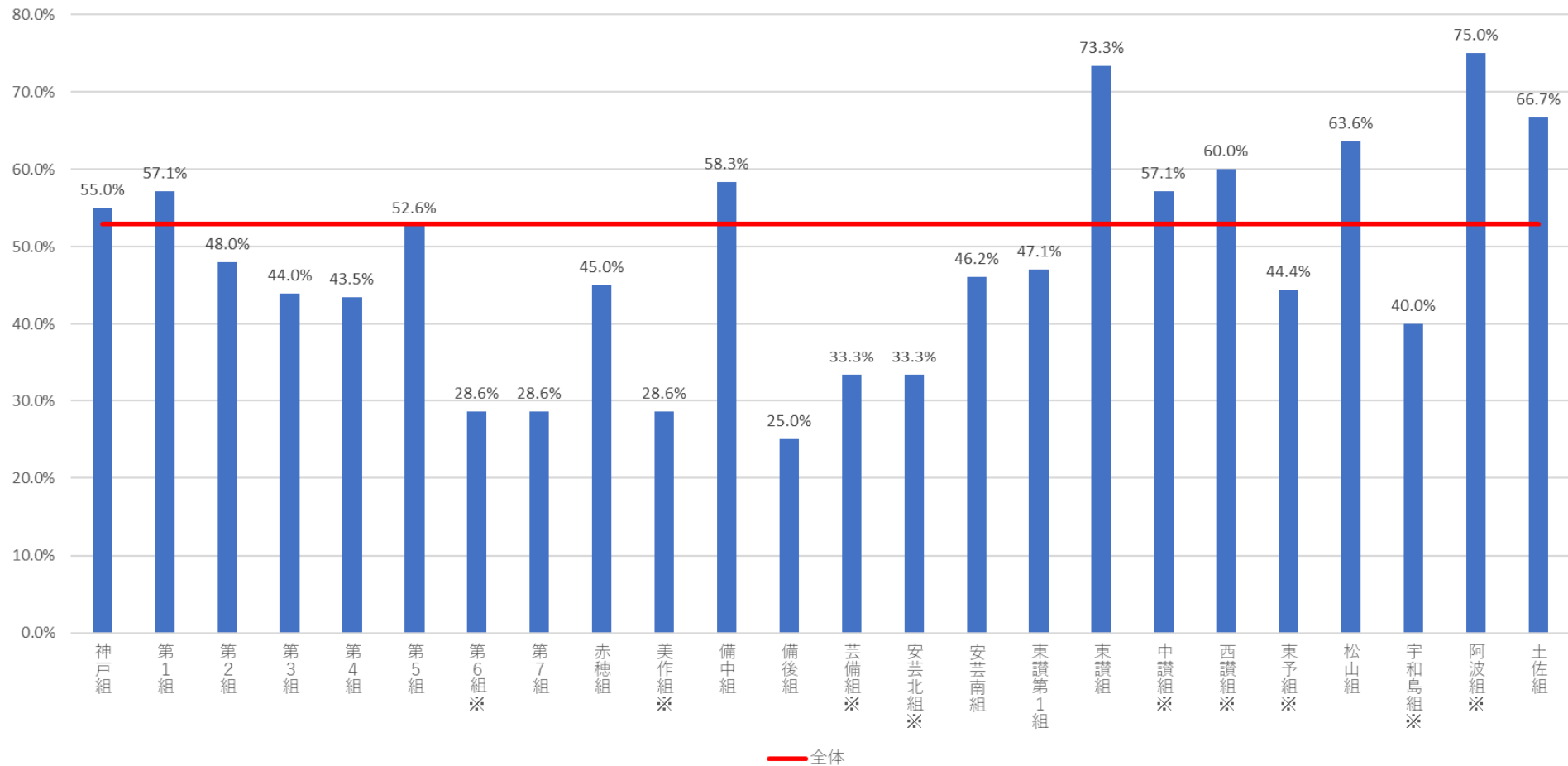


《組別》 真宗本廟奉仕への参加奨励を「特に何もしていない」寺院

※：回答数10カ寺以下の組

⇒ 比較の際注意！

【問31】 門徒を引率しての真宗本廟奉仕（奉仕団）への参加 「特に何もしていない」

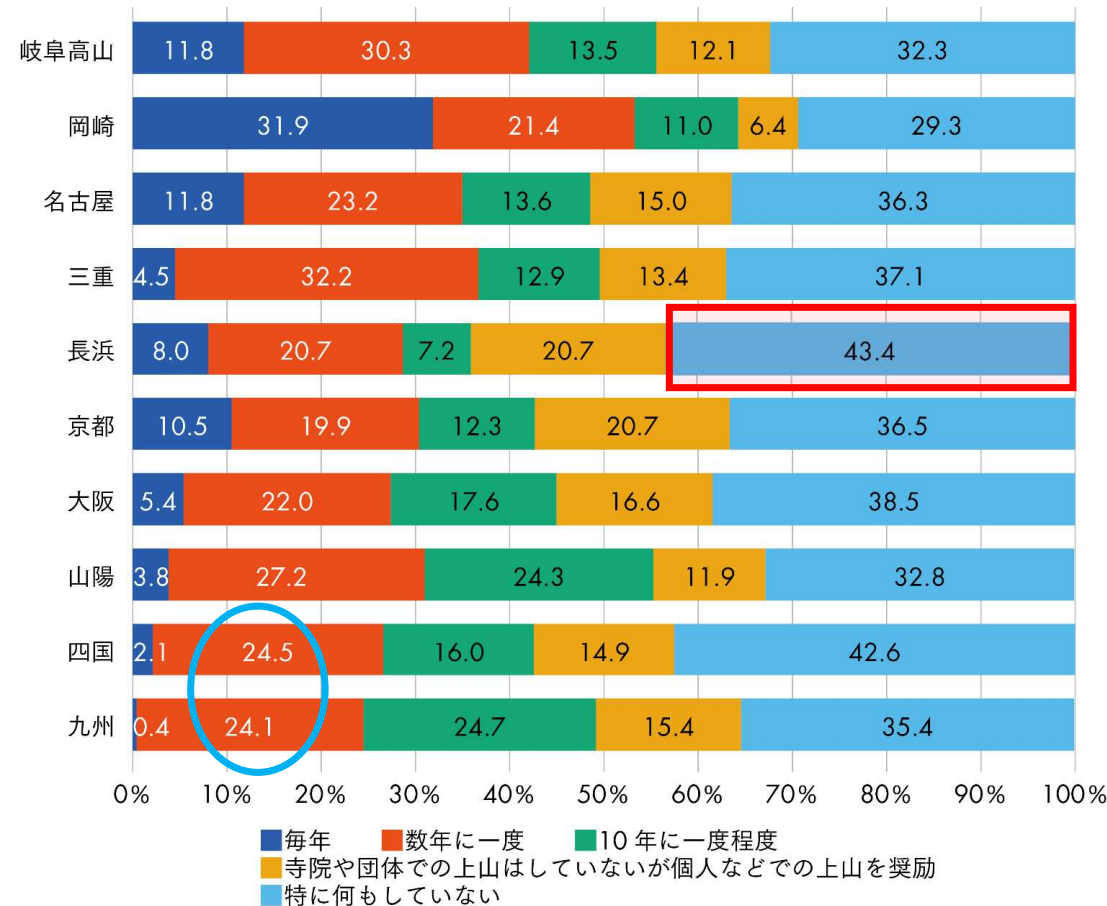


(P173・174) 寺院と本山の往復運動 その4 ―教区別団体参拝の状況―



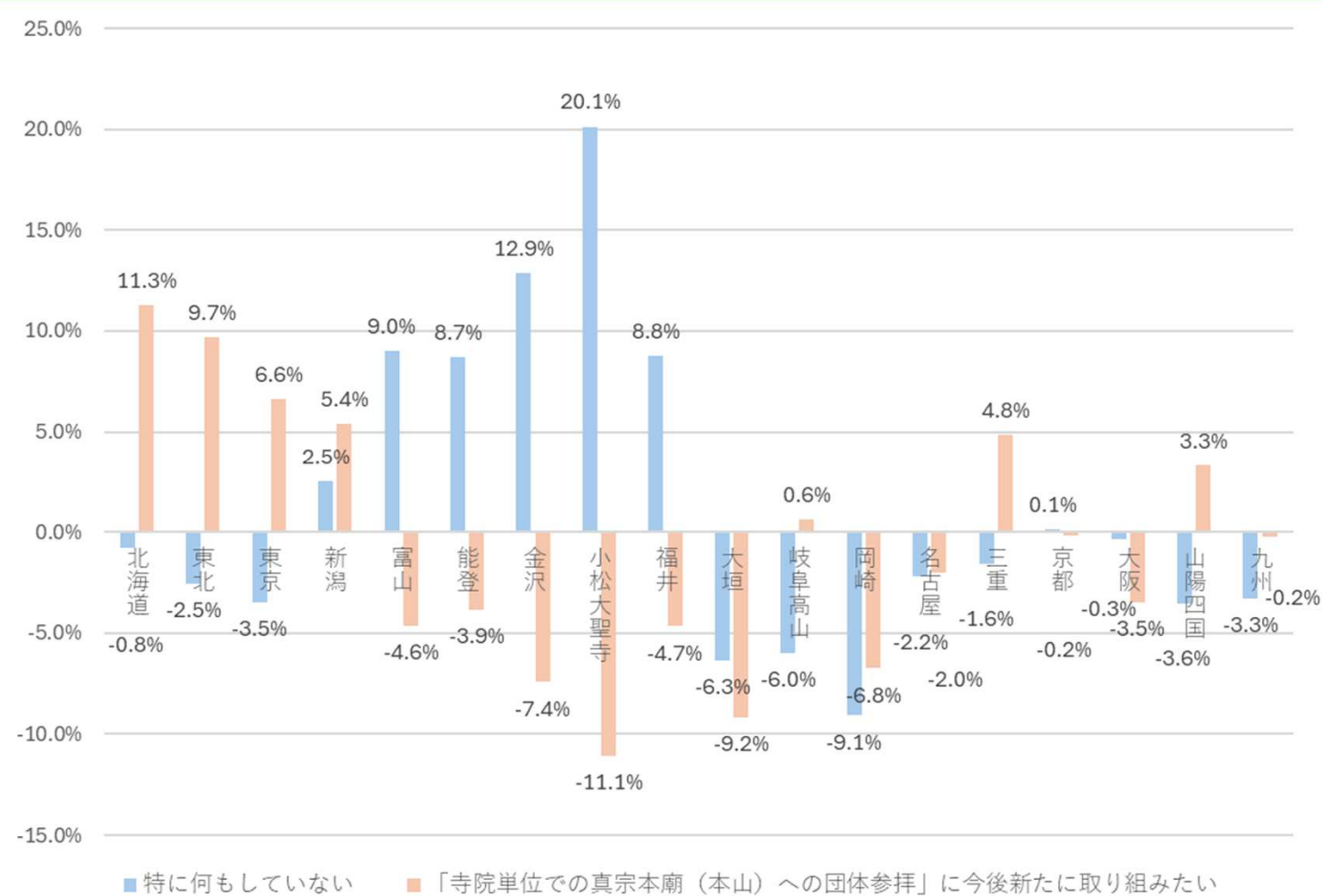
遠い距離の教区からでも団体参拝がある一方、北陸などで「特に何もしていない」の割合が高い

👉 ぜひ門徒への積極的な呼びかけを！



《図7-⑮》教区別（調査時点）の門徒を引率しての団体参拝などの実施状況（n=8,046）

教区の「門徒を引率しての真宗本廟への団体参拝」の今後の可能性（全国との比較）

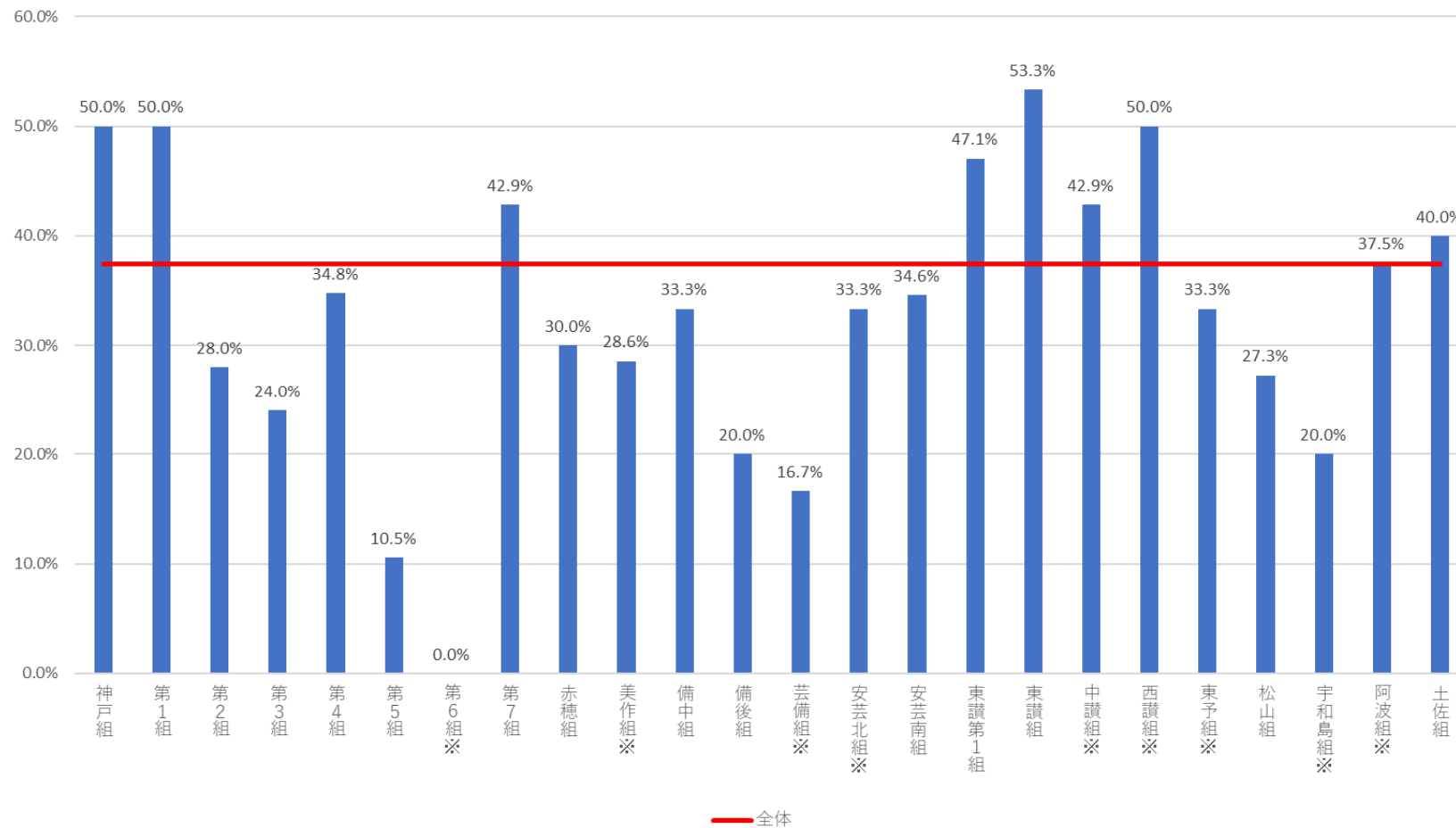


《組別》 真宗本廟への団体参拝などの参加奨励を「特に何もしていない」寺院

※：回答数10カ寺以下の組

⇒ 比較の際注意！

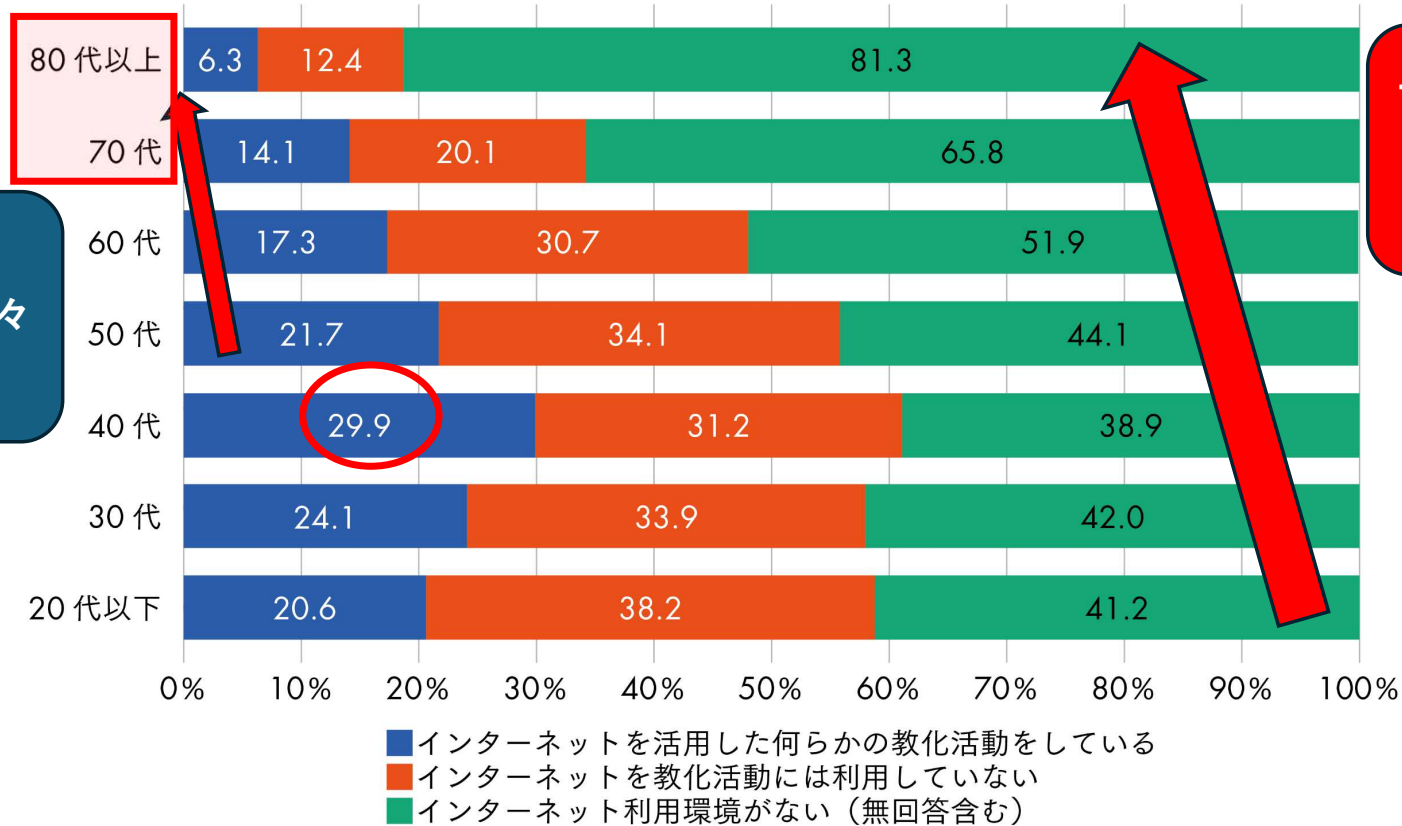
【問32】 門徒を引率しての上山（奉仕団以外） 「特に何もしていない」



(P176～179) 8. 時代状況に応じた寺院運営の基盤整備

※ (P176) 「7. 仏事を縁とした寺院と門徒とのコミュニケーションの場の創造」については割愛

(P177・178) インターネットの活用 ―世代別インターネット利用―



40代で最も活用
50代より上では徐々に減少

上の世代ほど
「インターネット利用環境なし」の割合増加

《図7-⑰》 回答者世代と教化活動におけるインターネット利用状況 (n=1,108)

👉 世代によりインターネット活用促進には課題 (住職の平均年齢の上昇傾向も踏まえる必要)

(P176) インターネットの活用

インターネットの利用環境ない：4,090ヵ寺（回答寺院全体の50.8%）

インターネットはあるが、ホームページを教化活動に利用していない：3,008ヵ寺

合計：7,098ヵ寺（回答寺院全体の88.2%）

= ホームページを開設していない寺院

👉 これらの寺院を対象としたホームページの開設支援などの必要性

(P178・179) インターネットの活用　－インターネットの活用まとめ－

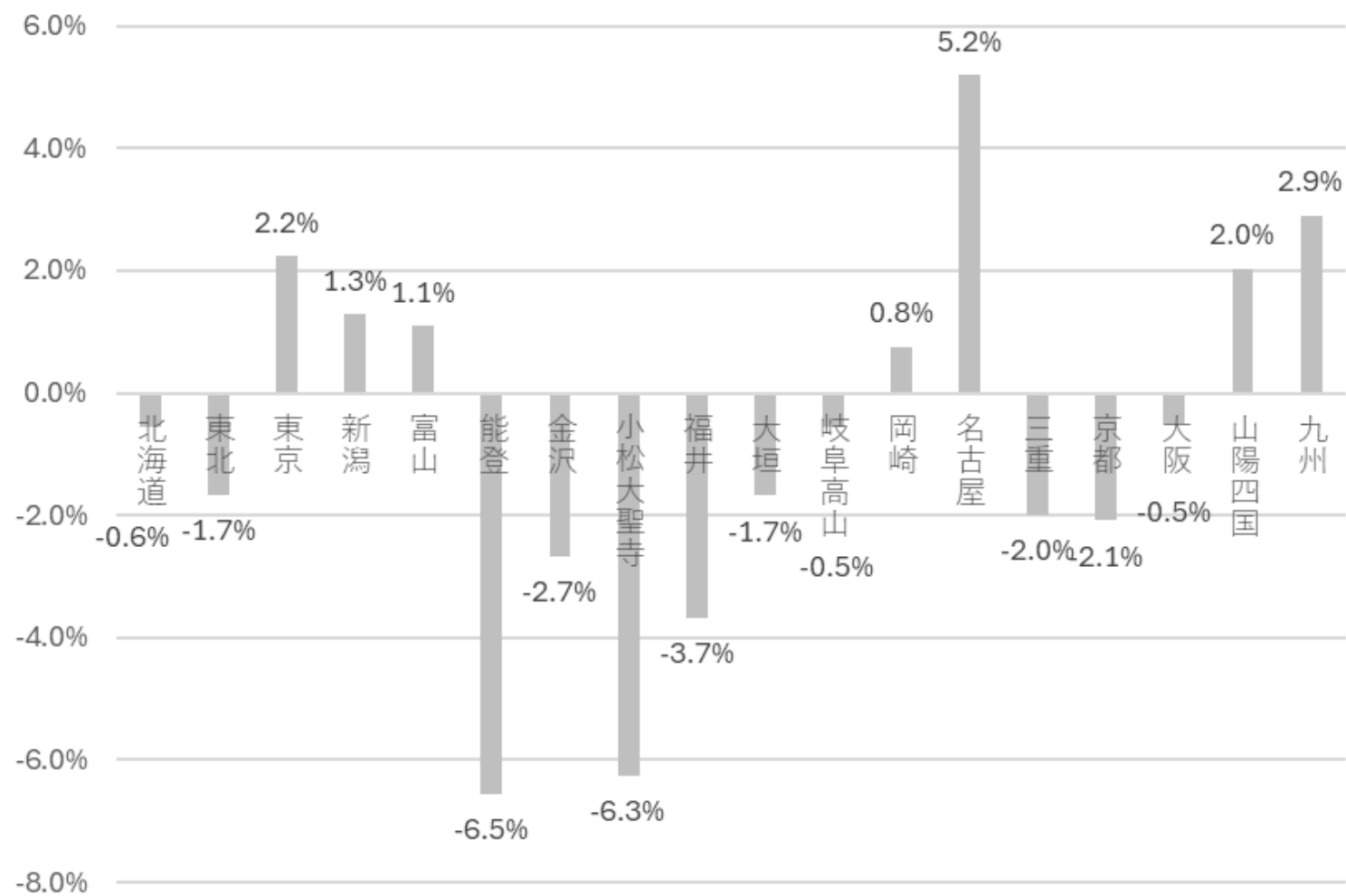
オンライン化が進む時代の流れ：即時性・公開性・利便性等向上のためインターネットの活用が必要

しかし、住職の平均年齢の上昇・高年世代の住職の割合増

⇒ インターネットを積極的に利用している世代の住職が少ない

👉 情報発信の受け手として、坊守・寺族、教師・僧侶・門徒に直接的に届けていく方途も検討する時期にある

教区の「ホームページを活用した教化伝道」に今後取り組みたい寺院割合（全国との比較）



(P179～182) 9. 教化に関する寺院の意識と将来の可能性

(P181・182) 取り組むべき教化支援の優先順位 －将来的な伸び率－

《表7-②》「今後新たに取り組みたい教化事業など」上位20項目

順位	項目	寺院数 現在取り組んでいる	寺院の割合 現在取り組んでいる	今後新たに 取り組みたい 寺院数	今後新たに 取り組みたい 寺院の割合	将来的な 伸び率	伸び率の 順位
1	寺院単位での真宗本廟（本山）への団体参拝	3,543	44.0%	2,113	26.3%	59.6%	⑫
2	法語掲示板への法語掲示	4,857	60.4%	1,939	24.1%	39.9%	⑰
● 3	お勤めの練習（※対象年齢を限定しないもの）	1,123	14.0%	1,797	22.3%	160.0%	⑥
4	寺院を会場とした通夜・葬儀	—	—	1,570	19.5%	—	—
5	真宗本廟奉仕（奉仕団）への寺院単位での参加	2,387	29.7%	1,553	19.3%	65.1%	⑩
● 6	ホームページ	793	9.9%	1,468	18.2%	185.1%	⑤
7	合同墓	2,287	28.4%	1,436	17.8%	62.8%	⑪
8	本山が配信するYouTube動画の活用	—	—	1,304	16.2%	—	—
9	真宗本廟（本山）での帰敬式受式の奨励	—	—	1,278	15.9%	—	—
● 10	東本願寺仏事サポートセンター（東京・福岡）の「仏事代行」制度	320	4.0%	1,129	14.0%	352.8%	②

11	納骨堂	2,415	30.0%	1,122	13.9%	46.5%	⑬
12	自坊で作成した寺報の配布	2,310	28.7%	1,092	13.6%	47.3%	⑮
13	葬儀や法事に関するリーフレットや冊子の配布	1,216	15.1%	1,086	13.5%	89.3%	⑦
14	教区や別院での帰敬式受式の奨励	2,005	24.9%	1,084	13.5%	54.1%	⑭
● 15	若者を対象としたつどいや聞法会	133	1.7%	1,047	13.0%	787.2%	①
● 16	カフェやお茶会などの憩いの場	308	3.8%	1,025	12.7%	332.8%	③
17	同朋の会	1,828	22.7%	993	12.3%	54.3%	⑬
18	お内仏に関するリーフレットや冊子の配布	1,238	15.4%	978	12.2%	79.0%	⑧
19	帰敬式	1,350	16.8%	903	11.2%	66.9%	⑨
● 20	正信偈などお聖教の書写	444	5.5%	878	10.9%	197.7%	④

(P181・182) 取り組むべき教化支援の優先順位 ―全国傾向のまとめ―

若者対象のつどいや聞法会【伸び率 1位】

⇒教えや寺院運営の世代間継承の課題

「仏事代行」制度【伸び率 2位】

⇒移動社会の進展に伴う都市部に居住する門徒との関係性の課題

カフェやお茶会など憩いの場【伸び率 3位】

⇒寺院と門徒や地域との関係の希薄化の課題

正信偈などお聖教の書写【伸び率 4位】

(対象年齢を限定しない) お勤めの練習【伸び率 6位】

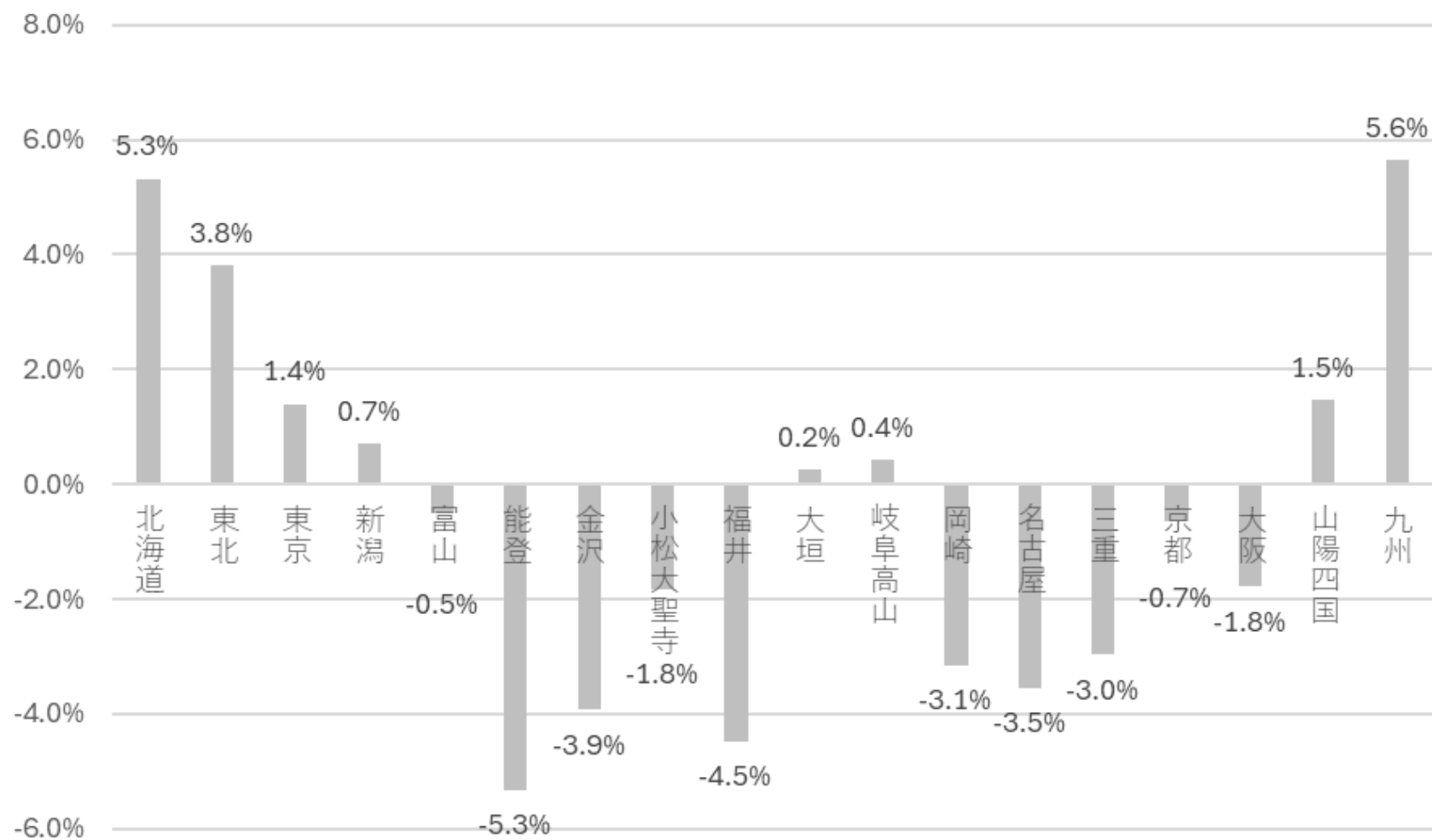
⇒世帯の分散化などによる真宗の教えの家庭内世代間相続が困難という課題
真宗門徒の行儀として「正信偈」に触れる時と場を積極的につくる重要性

ホームページ（の開設）【伸び率 5位】

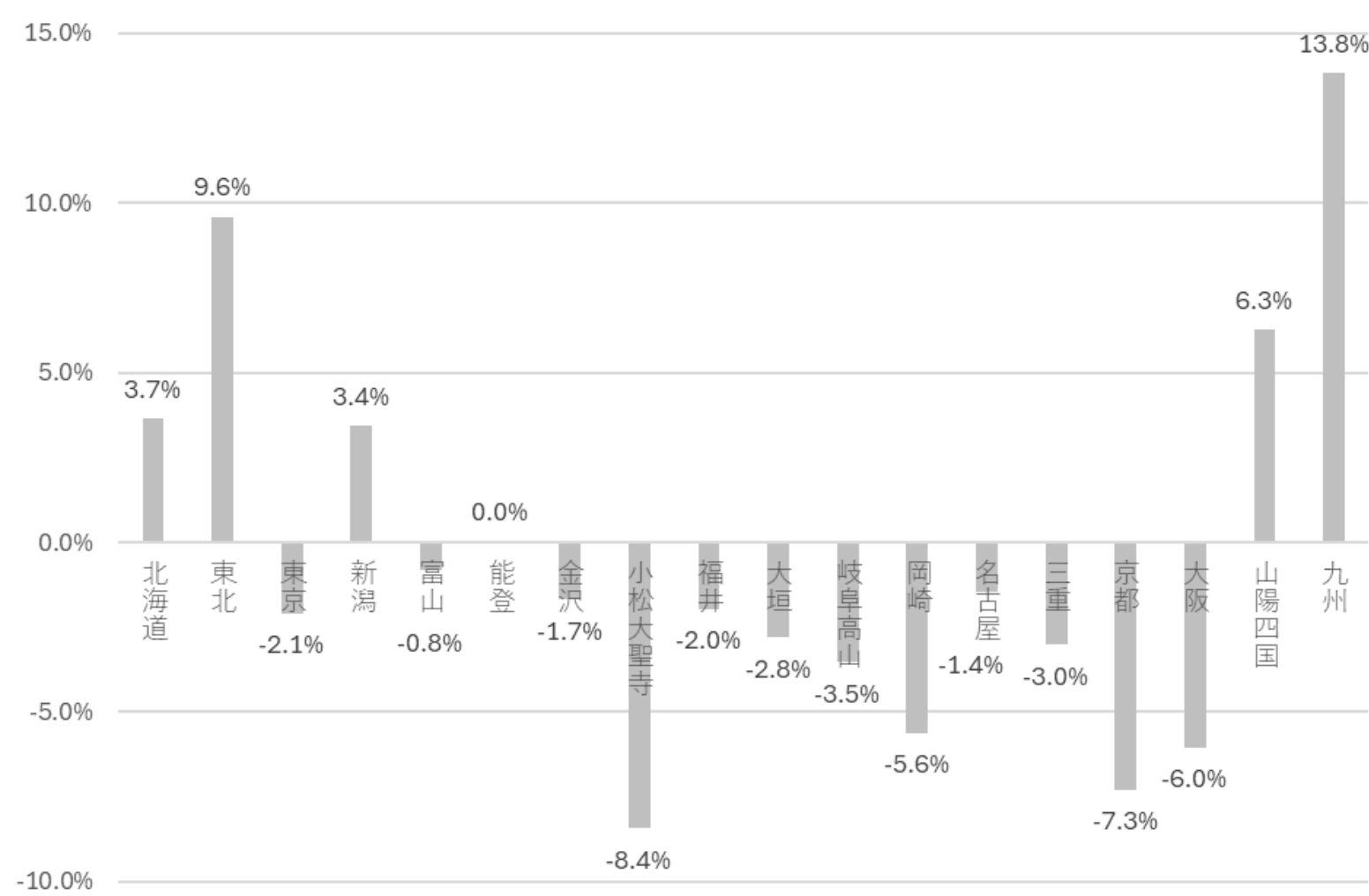
⇒インターネット社会からの自然な要請

教区の「若者を対象としたつどいや聞法会」に今後取り組みたい寺院割合（全国との比較）

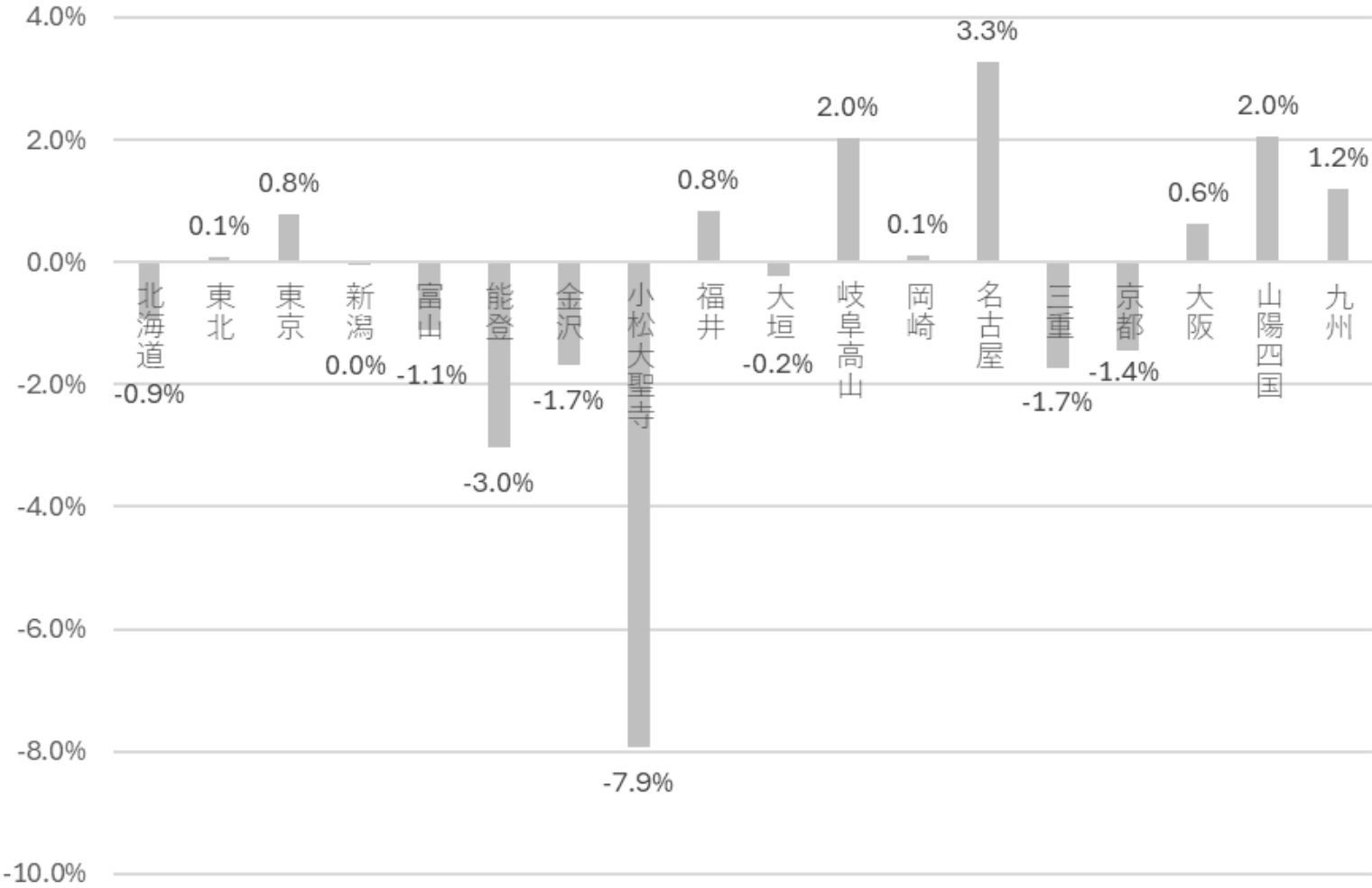
再掲



教区の「東本願寺仏事サポートセンターの「仏事代行」制度」に今後取り組みたい寺院割合（全国との比較）

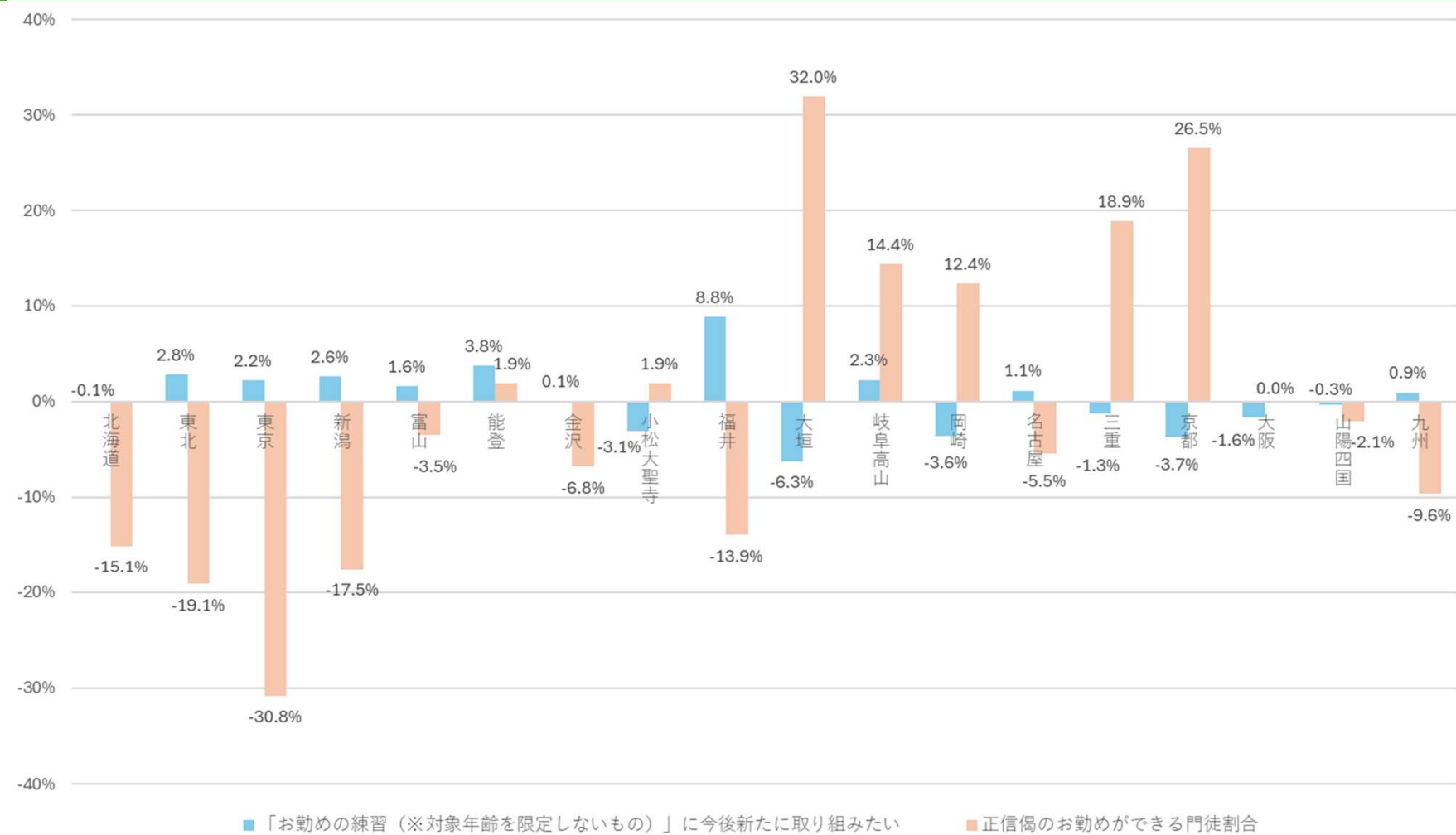


教区の「カフェやお茶会などの憩いの場」に今後取り組みたい寺院割合（全国との比較）



教区の「正信偈のお勤めができる門徒の割合」と

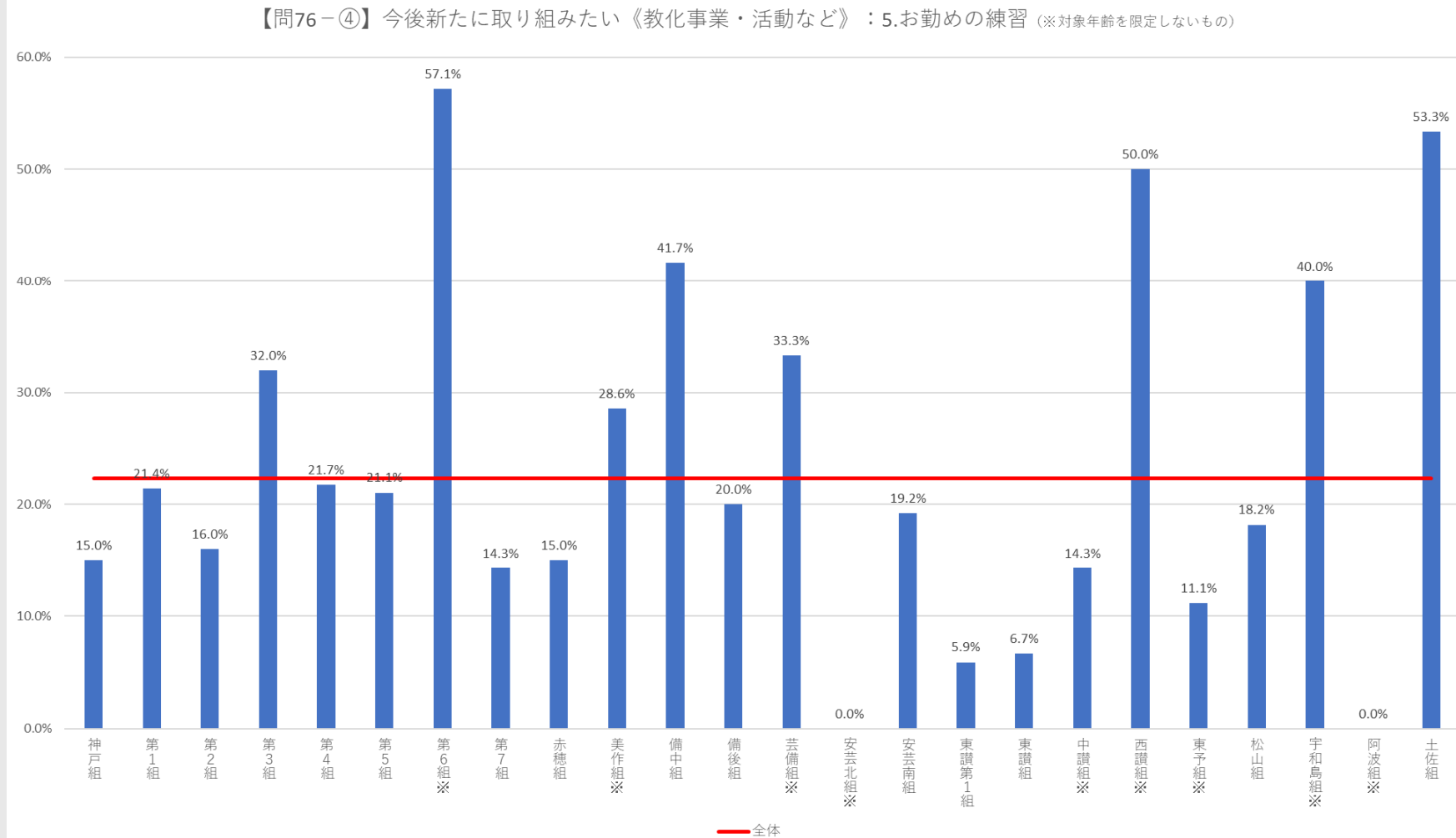
「お勤めの練習（※対象年齢を限定しないもの）」に今後取り組みたい寺院割合（全国との比較）



《組別》「お勤めの練習（※対象年齢を限定しないもの）」に今後新たに取り組みたい割合

※：回答数10カ寺以下の組

⇒ 比較の際注意！



(P181・182参照) 教区に取り組むべき教化支援の優先順位

【山陽四国教区】「今後新たに組みたい教化事業など」全体の上位20項目との比較					伸び率の順位		
	順位	項目	現在取り組んでいる寺院数	今後新たに組みたい寺院数	将来的な伸び率	伸び率の順位	【全国】伸び率の順位
	1	寺院単位での真宗本廟（本山）への団体参拝	170	102	60.0%	12	⑫
	2	法語掲示板への法語掲示	218	90	41.3%	17	⑰
●	3	お勤めの練習（※対象年齢を限定しないもの）	44	76	172.7%	5	⑥
	4	寺院を会場とした通夜・葬儀	－	85	－	－	－
	5	真宗本廟奉仕（奉仕団）への寺院単位での参加	114	79	69.3%	11	⑩
●	6	ホームページ	33	70	212.1%	4	⑤
	7	合同墓	59	57	96.6%	9	⑪
	8	本山が配信するYouTube動画の活用	－	71	－	－	－
	9	真宗本廟（本山）での帰敬式受式の奨励	－	50	－	－	－
●	10	東本願寺仏事サポートセンター（東京・福岡）の「仏事代行」制度	21	70	333.3%	2	②
	11	納骨堂	144	64	44.4%	16	⑯
	12	自坊で作成した寺報の配布	103	50	48.5%	15	⑮
	13	葬儀や法事に関するリーフレットや冊子の配布	57	62	108.8%	8	⑦
	14	教区や別院での帰敬式受式の奨励	87	51	58.6%	13	⑭
●	15	若者を対象としたつどいや聞法会	5	50	1000.0%	1	①
●	16	カフェやお茶会などの憩いの場	17	51	300.0%	3	③
	17	同朋の会	100	58	58.0%	14	⑬
	18	お内仏に関するリーフレットや冊子の配布	66	53	80.3%	10	⑧
	19	帰敬式	52	58	111.5%	7	⑨
●	20	正信偈などお聖教の書写	36	43	119.4%	6	④

(P181・182) 取り組むべき教化支援の優先順位　－まとめ－

- ☞ 寺院の現状や意識を踏まえ、
今後の宗派や教区、組の施策の方向性について、
統計的根拠に基づいて見定めていかなければならない

「一人の念仏者の誕生」、教団も寺院もそのためにこそある

(P5)

統計資料掲載のお知らせ

しんらん交流館ホームページ「浄土真宗ドットインフォ」内

【統計データを活用しよう！】に下記データを掲載しています。ご利用ください。

- 第8回「教勢調査」調査票
- 第8回「教勢調査」－単純集計結果－（単純集計グラフ集）
- 度数分布表
 - ・全体
 - ・調査時点の20教区別
 - ・都道府県別
 - ・過疎/非過疎別
 - ・旧30教区別
 - ・新17教区別
- 過去の教勢調査（第5回～第7回）との時系列比較表

【パスワード】 ksr2024



真宗教化センター寺院活性化支援室からのお知らせ

寺院活性化支援室
～支援事業のあらまし～

 真宗教化センター寺院活性化支援室

お寺のホームページ開設支援や寺報・文書伝道セミナーなど寺院運営支援や、**過疎地域対象の法要・法話支援、青少年教化支援**など、真宗教化センター寺院活性化支援室で取り組む支援事業をカタログ的に概観できる小冊子です。（2025年12月末の寺院・教会定期直送便にて送付）

寺院活性化支援室のホームページと合わせてご活用ください。

